



Hinemos 機能紹介

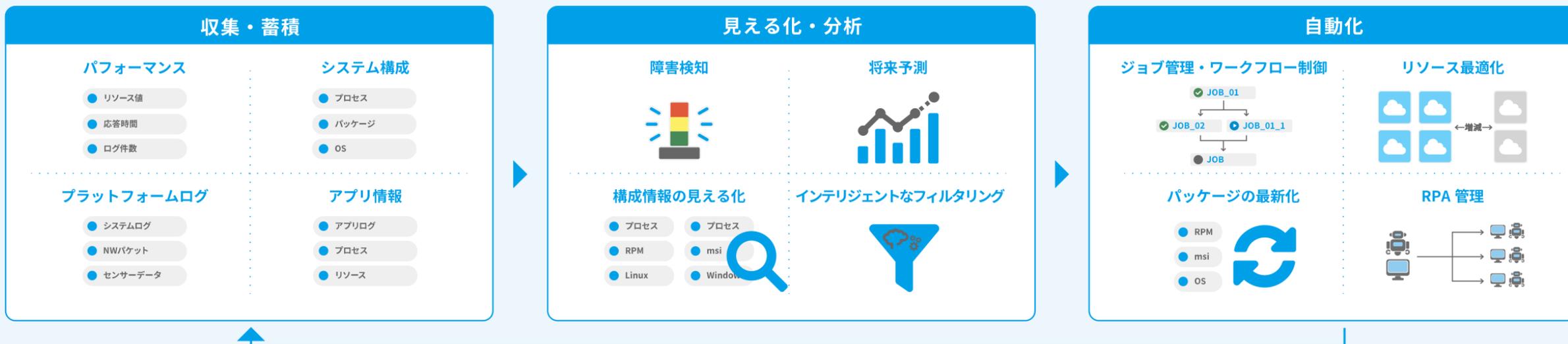
NTTデータ先端技術株式会社

- 
1. Hinemosとは
 2. Hinemosの機能概要
 3. エンタープライズ機能
 4. VM・クラウド管理機能
 5. ミッションクリティカル機能
 6. メッセージフィルタ
 7. ご相談・お問い合わせ

Hinemosとは

Hinemos

運用アナリティクス



DX

デジタルトランスフォーメーション

DX を推進する IT システムの方法論の監視・自動化ツールを統合

SRE

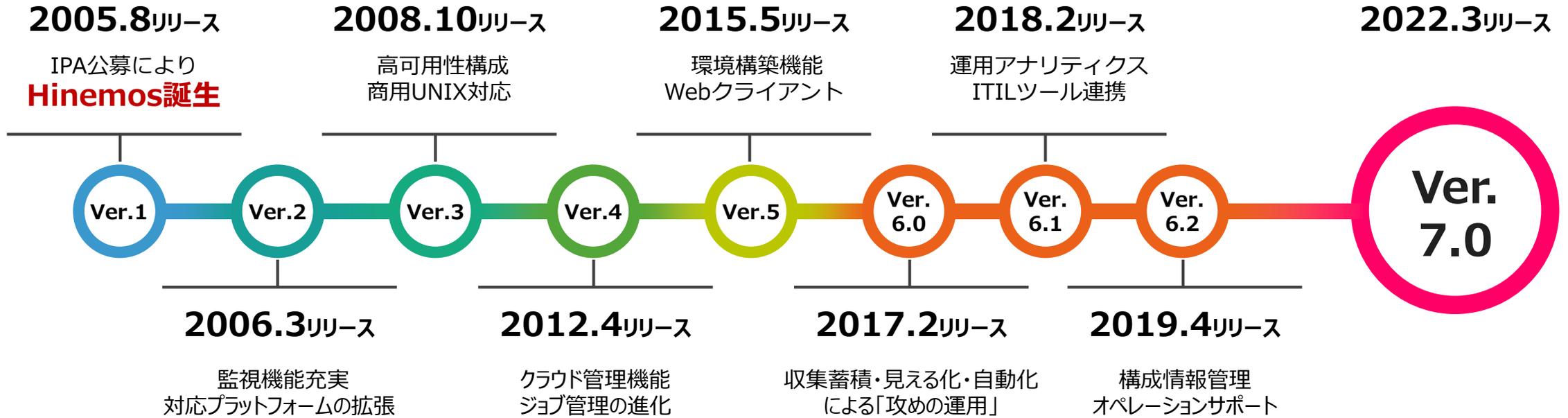
ITOps

DevOps

NoOps

AIOps

Hinemosの歩み



統合運用管理部門	「Leader」
ログ管理部門	「Leader」
ネットワーク管理部門	「Leader」
ジョブ管理部門	「Leader」

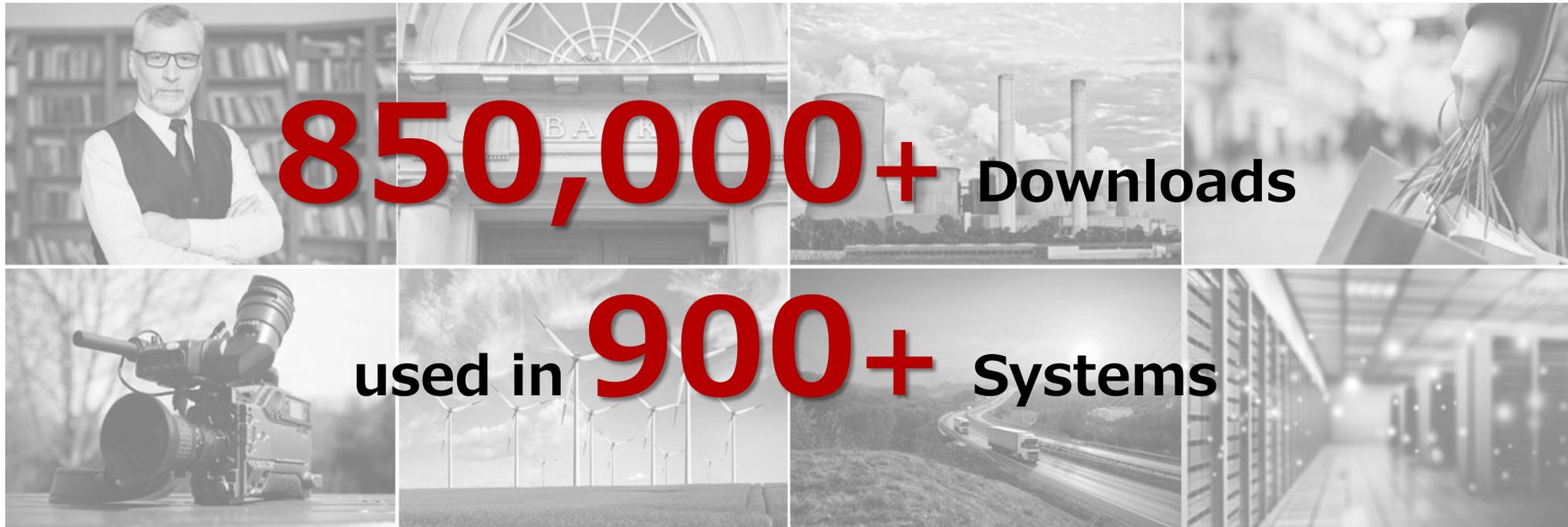
導入実績① 多種多様な業界でご活用頂いております

官公庁・自治体

証券・金融

製造・化学

小売



メディア

電気・ガス・水道

輸送・流通

データセンター

導入実績② 多種多様なシステムでご活用頂いております



愛知県庁様(庁内クラウドシステム)
KNT-CTホールディングス様
株式会社JTB様
NTTデータ 各所データセンタ



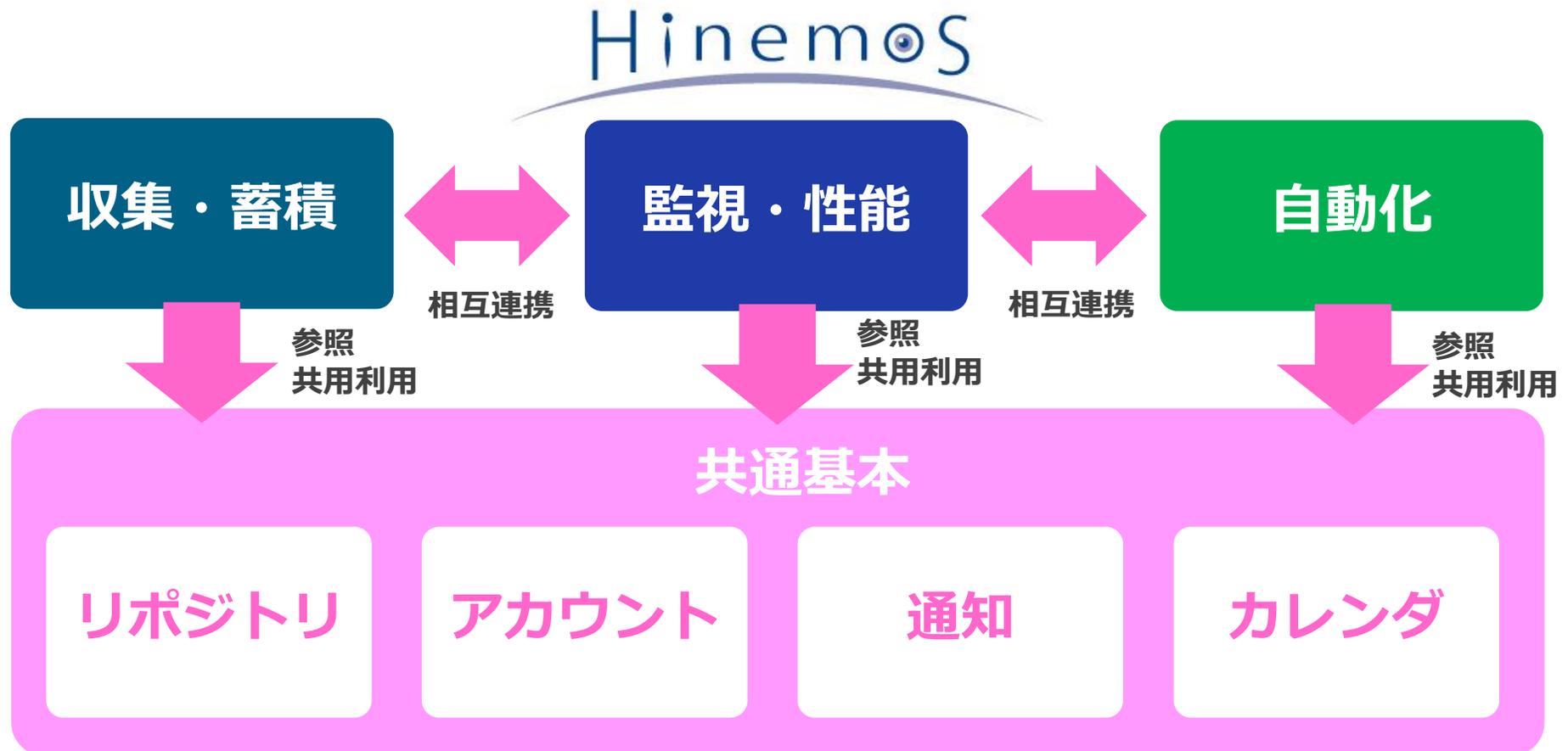
三井住友銀行様
地方銀行様(多数)
カード決済サービス(CAFIS)



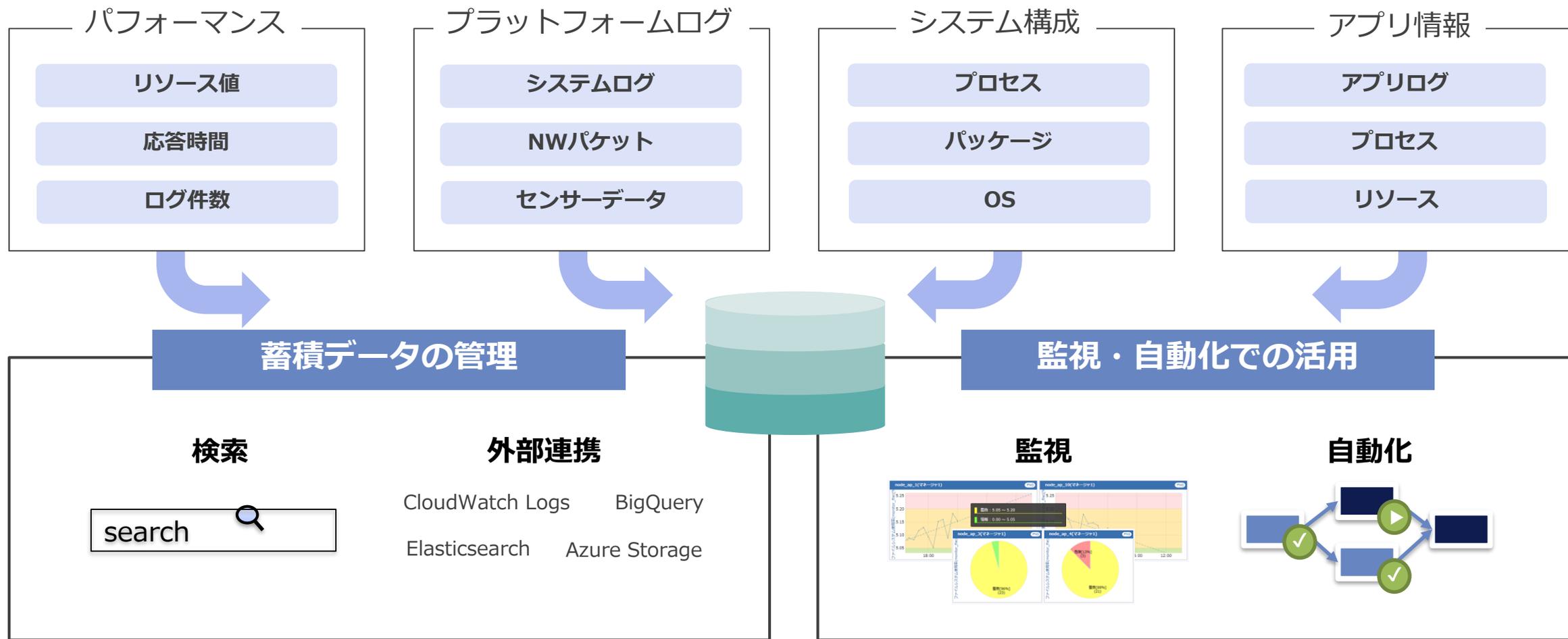
東急電鉄グループ様
電通国際情報サービス様
株式会社NTTドコモ様
ECONO-CREA (NTTデータ)
A-gate (NTTデータ)

Hinemosの機能概要

収集・蓄積、監視・性能、自動化機能を、
共通基本機能でシームレスに連携し、「統合運用管理」を実現



ITのあらゆるデータを収集・蓄積、蓄積データの管理・活用を実現



ログメッセージのタグ抽出により解析を容易に実現

ログフォーマットによるタグ抽出

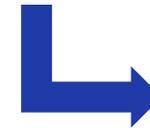
規則性のあるログメッセージに、タグとしてメタ情報（キー・バリュー）を付与し、抽出可能です。

■ Apacheアクセスログ

127.0.0.1 - frank [10/Oct/2000:13:55:36 -0700] "GET /apache_pb.gif HTTP/1.0" 200 2326

先頭は
送信元IP

[]内は
日付情報

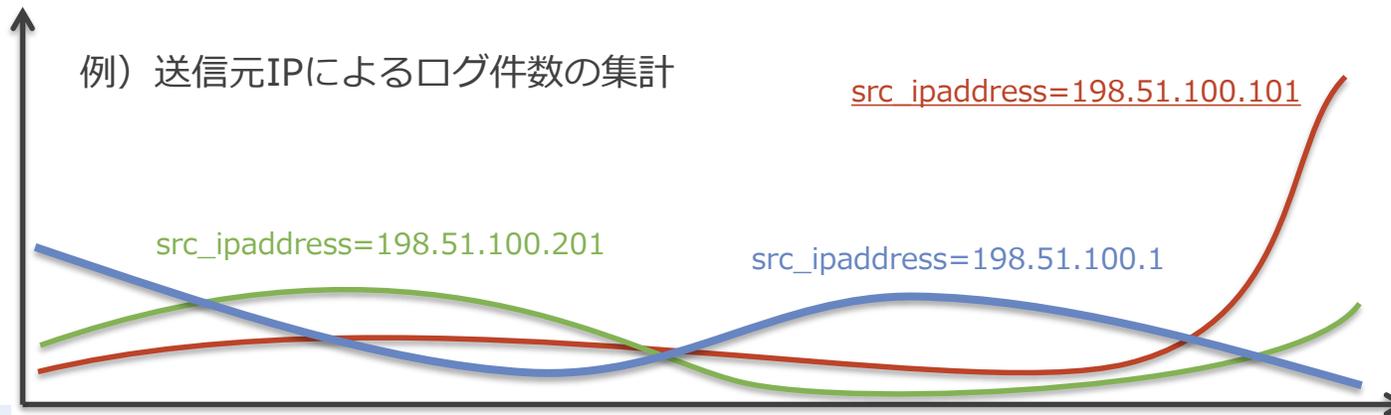


規則性からタグ抽出

キー	値
src_ipaddress	<u>127.0.0.1</u>
date	<u>10/Oct/2000:13:55:36 -0700</u>
method	<u>GET</u>
status_code	<u>200</u>
send_byte	<u>2326</u>

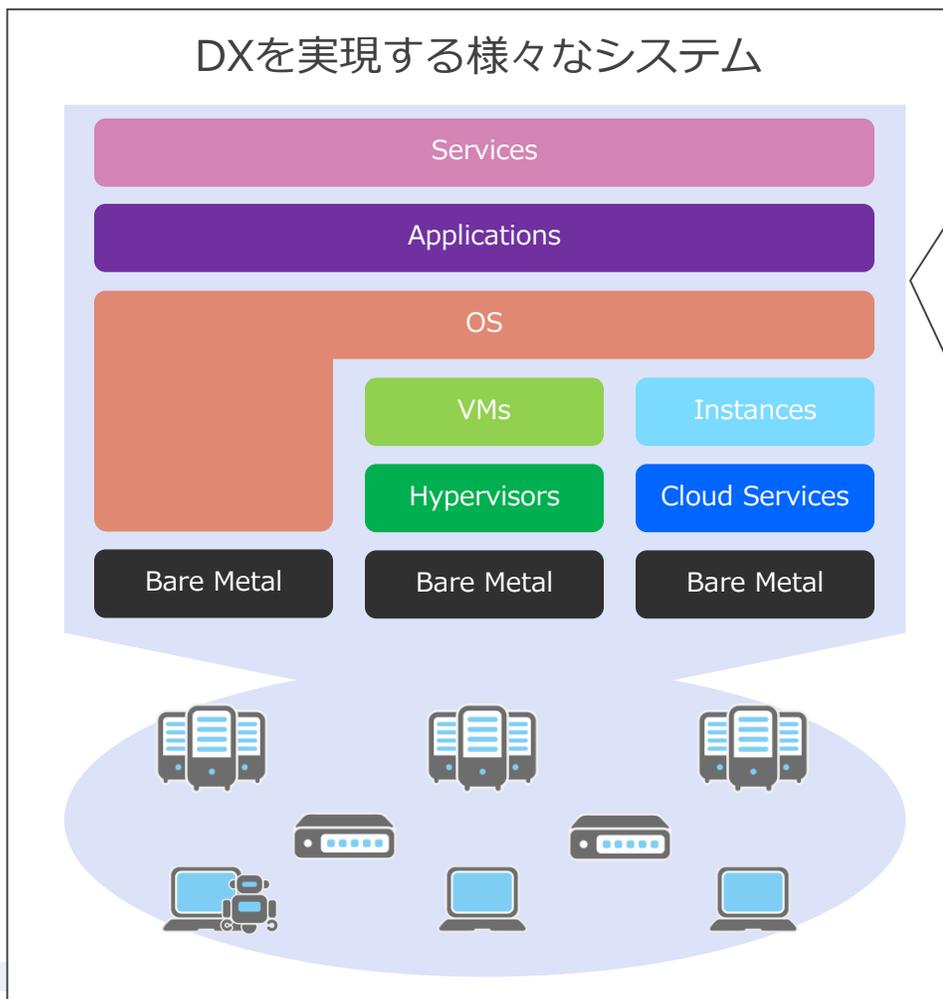
タグを使ったログ集計

タグ情報単位のログメッセージの集計により様々な確度で障害などの分析が可能になります。



送信元IPにて集計し
アクセスの片寄りを
簡単に確認できる

リアルタイムなシステム運用状況の監視・視覚化、将来予測や変化量による異常検知



監視

A screenshot of a monitoring dashboard displaying a map of Japan. A red traffic light icon is shown on the left. The map has several green and red markers indicating system status across different regions.

将来予測

Two line graphs illustrating future predictions:

- The top graph shows CPU usage (CPU) over time. A blue circle highlights a current trend, and a red circle indicates a predicted spike. Text: "今は正常だが 1ヶ月後に異常" (Currently normal, but abnormal in 1 month).
- The bottom graph shows memory usage (MEM) over time. A red circle highlights a sharp drop. Text: "予測値超えが多発し急降下" (Frequent prediction exceedances and sharp drop). Below it, a blue box says: "次の値を予測し 予想以上の変化を検知" (Predict the next value and detect changes beyond expectations).

構成情報の見える化

A diagram showing the visualization of configuration information. It features a central cylinder labeled "CMDB". Below it, a sequence of packages is shown: "PKG Ver.1", "PKG Ver.1", "PKG Ver.2", and "PKG Ver.2". A yellow starburst labeled "変化" (Change) is positioned between the two "PKG Ver.1" boxes.

インテリジェントなアラート

A diagram illustrating an intelligent alert filter rule. It shows a sequence of messages ("msg") in various colors (red, yellow, green, blue). A magnifying glass icon labeled "フィルタルール" (Filter Rule) is shown filtering the messages, resulting in only two blue messages passing through.

多種多様な監視をGUIから簡易に設定し、簡単に実行

監視項目	概要
PING監視	対象機器へのping応答の有無により死活状態を監視します。
プロセス監視	起動しているプロセス数から状態を監視します。
リソース監視	対象機器のリソース情報を取得してその状態を監視します。
サービス・ポート監視	特定のサービス・ポートについて、応答有無や応答時間から状態を監視します。
Windows サービス監視	Windows サービスの状態を監視します。
Windowsイベント監視	Windowsイベントログに出力されたメッセージを監視します。
Hinemosエージェント監視	Hinemos エージェントの死活状態を監視します。
HTTP監視	Webサーバの応答有無や応答時間、レスポンスの内容から状態を監視します。
HTTPシナリオ監視	複数のURLへ順にアクセスし、想定されるアクセスが可能であるかを監視
SNMP監視	汎用的なプロトコルSNMPの応答の内容を監視します。
SNMPTRAP監視	対象機器からSNMPTRAPを受信することで、対象機器の状態を把握します。

監視項目	概要
SQL監視	DBサーバの応答有無や応答時間、SQLレスポンスの内容から状態を監視します。
JMX監視	Javaアプリケーションのヒープメモリサイズ等の状態を監視します。
ログファイル監視	特定のログファイルに出力されたメッセージを監視します。
システムログ監視	各種OSのシステムログに出力されたメッセージを監視します。
ログ件数監視	指定のメッセージを含むログの一定期間の出力量を閾値監視をします。
相関係数監視	2値の相関係数に対して閾値監視をします。
収集値統合監視	指定した複数の条件を満たすか否かを監視します。
バイナリファイル監視	バイナリファイルを監視します。
パケットキャプチャ	パケットキャプチャを監視します。
カスタム監視	ユーザ定義のコマンド/スクリプトの実行結果(数値・文字列)を監視します。
カスタムトラップ監視	json形式でHinemosマネージャに送信された情報(数値・文字列)を監視します。

監視・性能機能：シンプルな設定操作

監視内容(数値・文字列・真偽値・トラップ・バイナリ)毎に統一された操作感
強調表示、選択肢表示、設定例の表示により、操作の容易化やミス削減を実現

リソース[作成・変更]

マネージャ： マネージャ1

監視項目ID：

説明：

オーナーロールID： ALL_USERS

スコープ： OS別スコープ>Linux>

条件
間隔： 5分 カレンダID：

チェック設定
監視項目：
 収集時は内訳のデータも

監視
基本 将来予測 変化量

監視

通知
通知ID：

アプリケーション：

収集
 収集 収集値表示名：
収集値単位：

必須入力項目の
強調色表示

設定可能項目の
選択肢表示

システムログ[作成・変更]

マネージャ： マネージャ1

監視項目ID：

説明：

オーナーロールID： ALL_USERS

スコープ：

条件
間隔： 0 カレンダID：

監視
 監視

通知
 この設定を有効にする

アプリケーション：

判定による重要度変化： パターンマッチをまたいで重要度変化する

収集
 収集 ログフォーマットID：

フィルタ[作成・変更]

説明：

条件
パターンマッチ表現：
ex. .*pattern.*

条件に一致したら処理する 大文字・小文字を区別しない
 条件に一致したら処理しない

処理
重要度：
危険

メッセージ：
#[LOG_LINE]

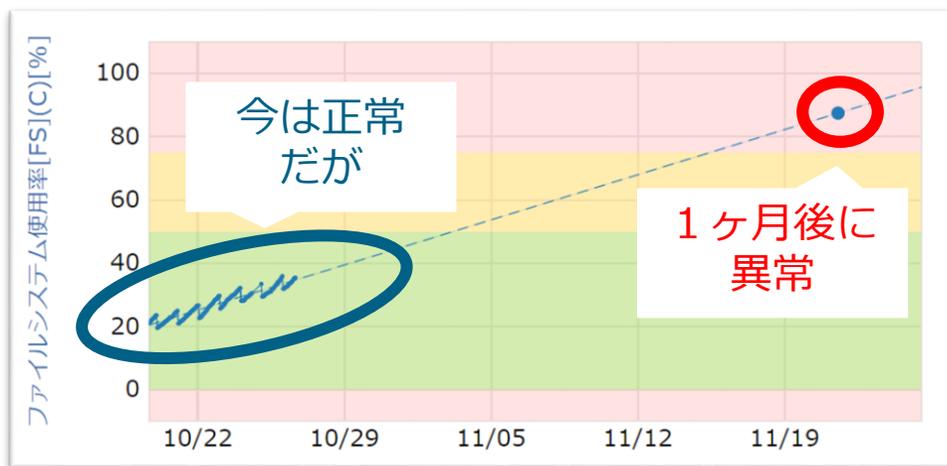
設定例の表示

例：リソース監視機能 リソース[作成・変更] ダイアログ

例：システムログ監視機能 フィルタ[作成・変更] ダイアログ

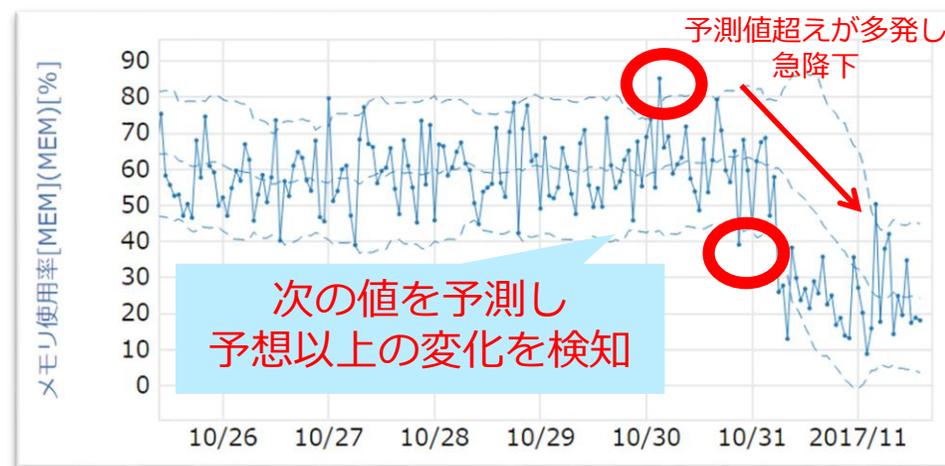
これまで収集したデータを元に未来の異常をいち早く検知

将来予測監視



リソース枯渇はアラートが出てからだと手遅れです。変化の多い環境でも、Hinemosが将来を予測し、いち早く対策を打てます。

変化監視

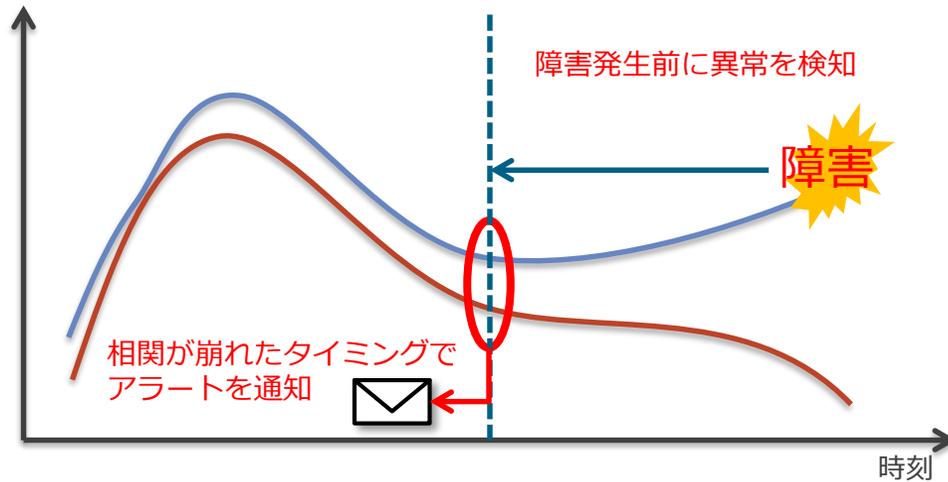


閾値内の変動でも普段と違う動きは異常の前触れかもしれません。次の動きを予測し監視をすることで、いち早く異常の傾向を察知できます

※ボリンジャー・バンドアルゴリズムを採用

複数データの関係性から分かる異常をいち早く正確に検知

相関係数分析



あるデータの異常は、他のデータとの関係性から気づける事があります。
相関係数を使って、関係性の崩れから将来的な異常をいち早く察知できます。

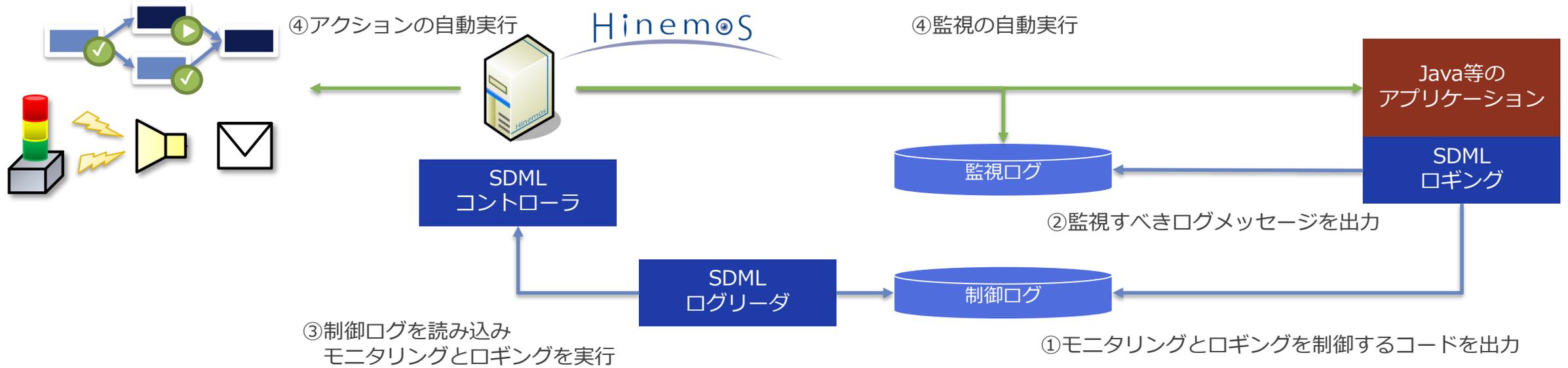
収集値統合監視



1つのデータでは、重要度を正しく表現することが出来ない場合があります。
複数のデータを組み合わせた監視により障害のレベルを正確に把握できます。

監視・性能機能：SDML (Software Defined Monitoring and Logging)

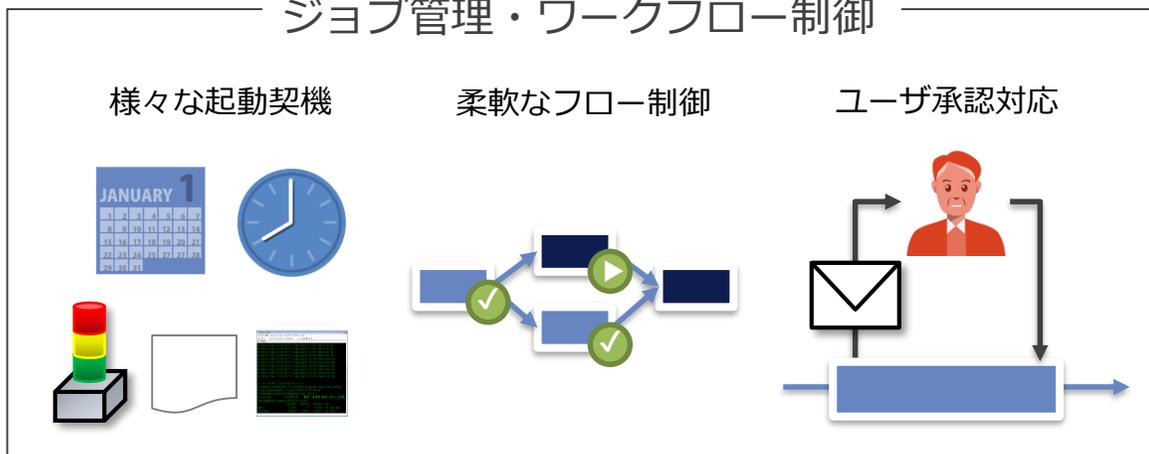
監視対象アプリケーションにSDMLロギングを組み込み
制御ログと監視ログを介して、モニタリング(監視)とロギングの定義と制御を実現



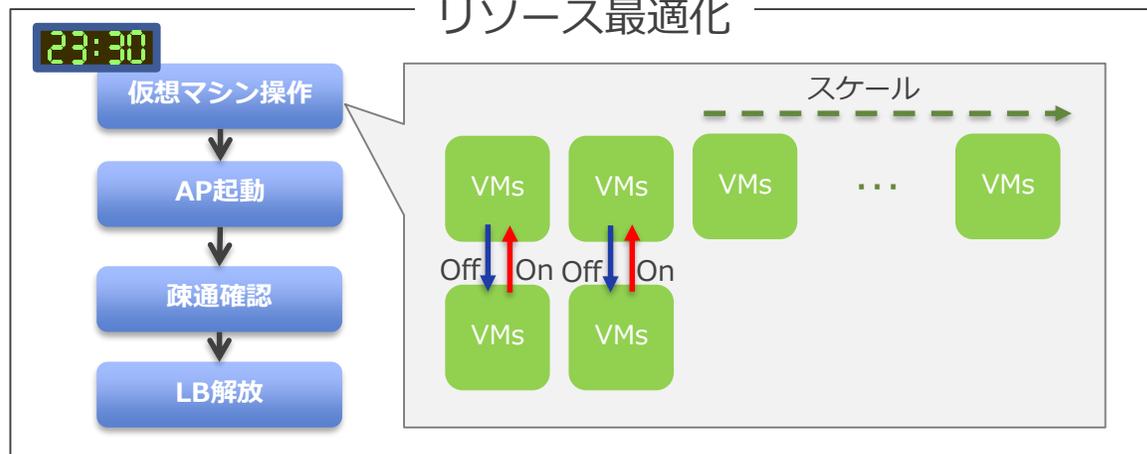
自動監視： 監視設計は不要。Hinemosが自動でアプリケーションを監視
ユーザ制御監視： 監視設計をコードに組みこみ、アプリケーションからHinemosを制御

ジョブ・ワークフロー、サーバリソース、パッケージ構成、RPAの 様々な自動化を集約管理

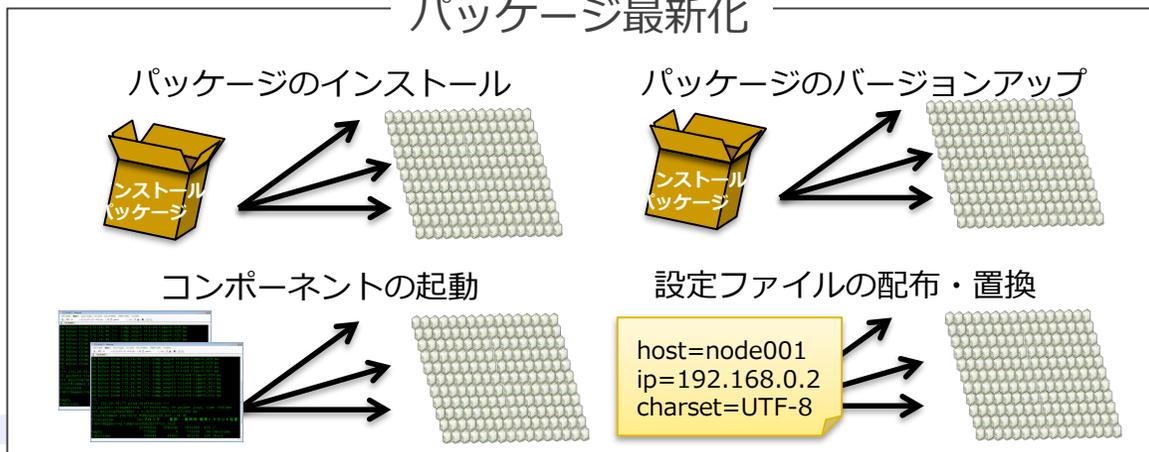
ジョブ管理・ワークフロー制御



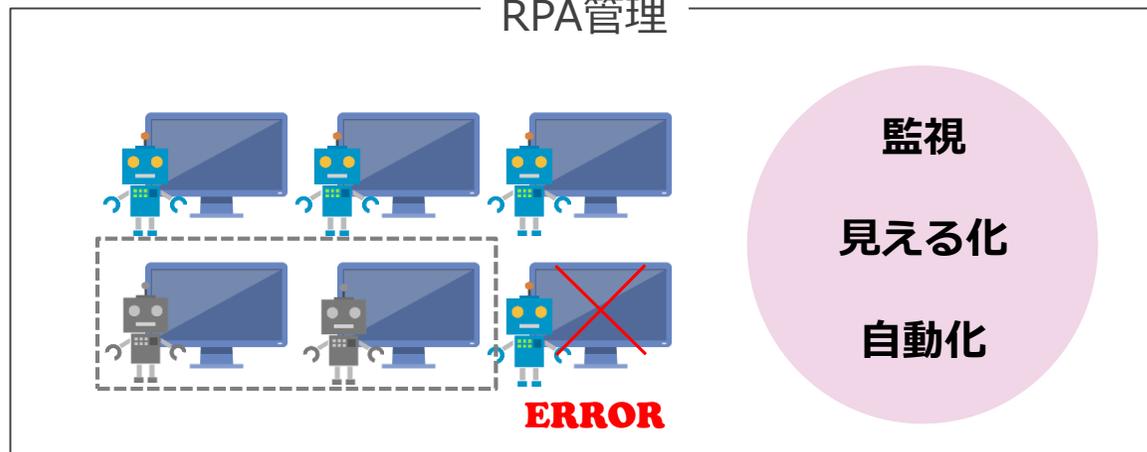
リソース最適化



パッケージ最新化



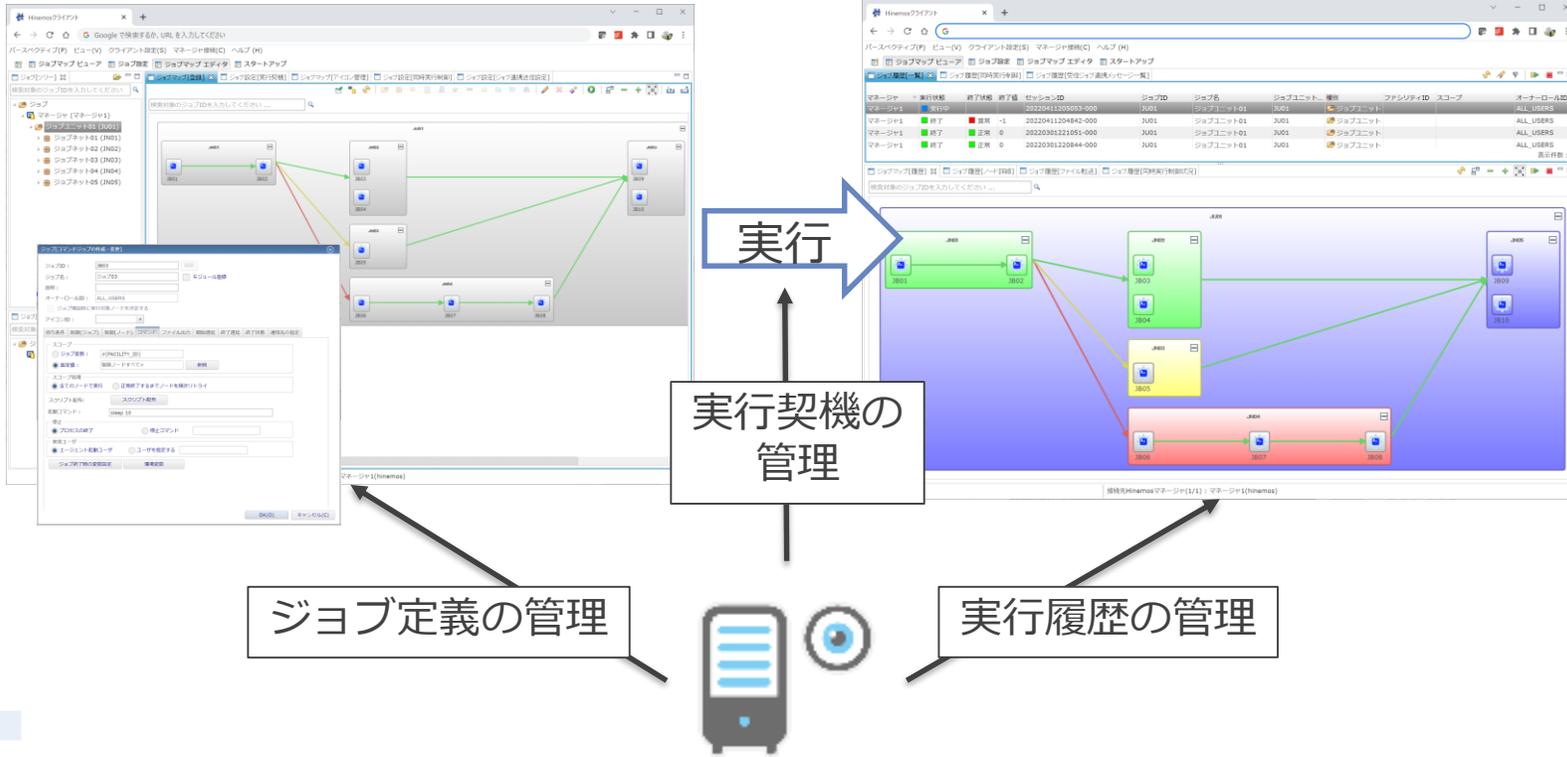
RPA管理



サーバを跨る処理フローの統合管理を実現
複数サーバに対するジョブも、スコープを用いて効率的に実行

ジョブ定義

ジョブセッション(実行履歴)



Hinemosによる統合管理

ジョブ01



Webサーバスコープ

- Webサーバ#1
- Webサーバ#2
- Webサーバ#3

ジョブ02



DBサーバスコープ

- DBサーバ#1
- DBサーバ#2

スコープ単位でジョブ定義可能
シンプルなジョブフローを実現

自動化機能：ジョブ管理(ジョブ定義の管理)

複雑なジョブ実行要件を、作りこみなしでシンプルに実現

コマンドジョブ

■コマンド・スクリプト実行

OS上でコマンドを実行
ジョブ毎に環境変数の指定も可能



監視対象ノード

- Linuxコマンド
- Windowsコマンド
- UNIXコマンド
- シェルスクリプト
- ミドルのコマンド etc...

■スクリプトの配布・実行

Hinemosマネージャにスクリプトを登録
起動時に配布して実行することが可能



Hinemosマネージャ

配布して実行



監視対象ノード

ファイルチェックジョブ

ファイルの存在確認・作成・削除・
変更（サイズ、タイムスタンプ）の
契機で実行可能



- ファイルチェック実行契機により同条件でジョブ起動も可能
- ファイルの変更は書き込み完了を待つモードをver.7.0より追加

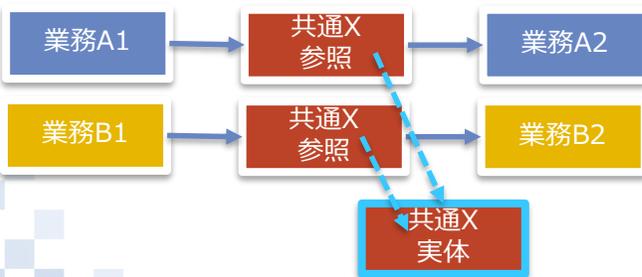
RPAシナリオジョブ

RPAシナリオをリモート実行可能



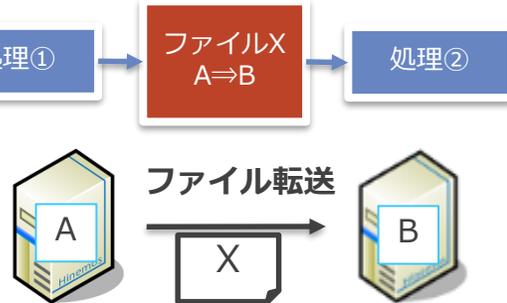
参照ジョブ

ジョブの参照を使用することで共通的
な処理を1か所に集約が可能



ファイル転送ジョブ

1つのジョブでファイルの転送元と転
送先を指定して転送を実行



監視ジョブ

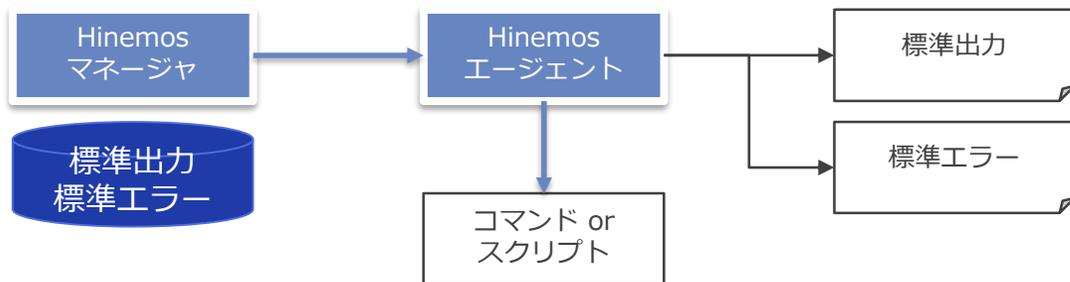
Hinemosの監視機能をジョブとして
指定が可能



自動化機能：ジョブ管理(ジョブ定義の管理)

標準出力のファイル出力

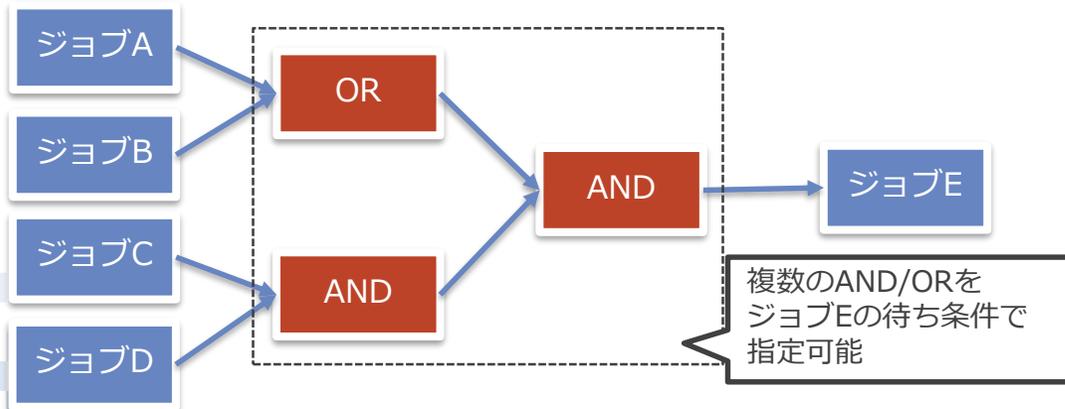
実行したコマンドの標準出力・標準エラー出力をジョブ履歴として管理する以外にファイル出力が可能に



- 標準出力・標準エラー出力のファイルを同一にすることも可能
- ファイルの出力単位はコマンドジョブ、日付付きなどの指定も可能

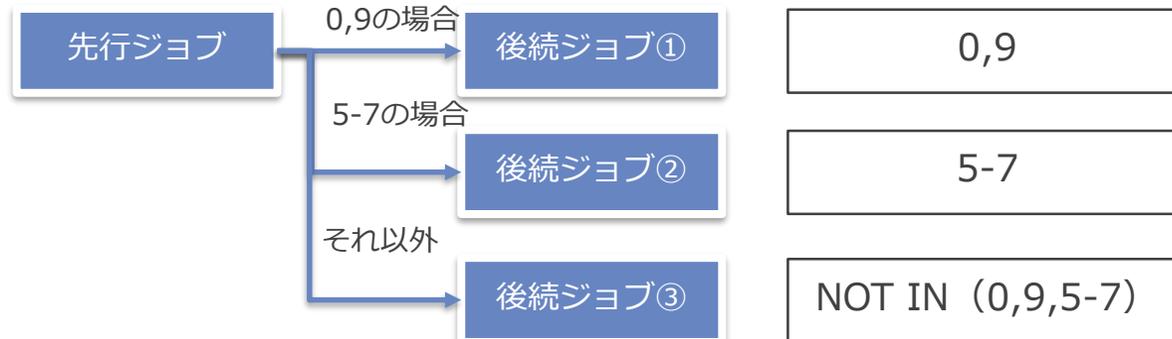
複数待ち条件対応

複数の待ち条件をAND/ORで組み合わせた待ち条件が指定可能



戻り値の飛び番対応

先行ジョブの戻り値に対して、飛び番の戻り値で判定が可能に



繰り返し実行

ジョブが異常終了した際のリトライ（繰り返し実行）や、単純な繰り返し実行において任意の間隔で指定可能に

◆ 異常終了時のリトライ

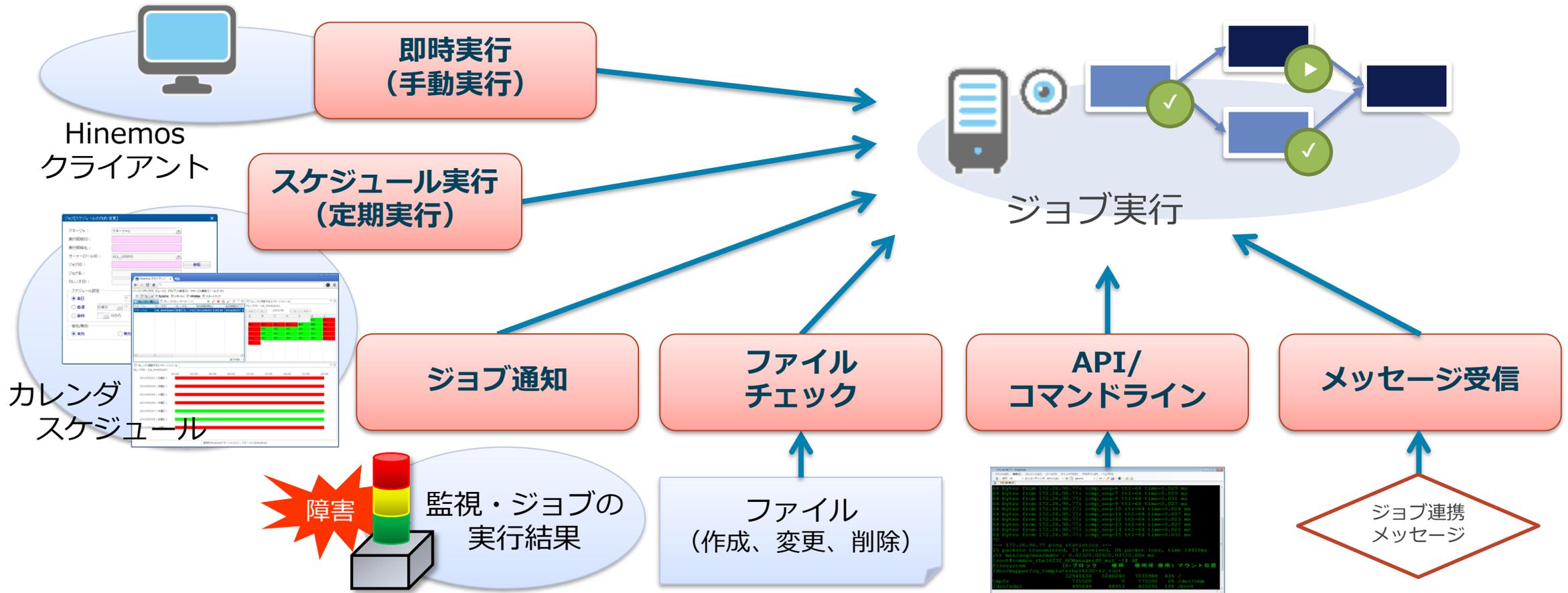


◆ 単純な繰り返し

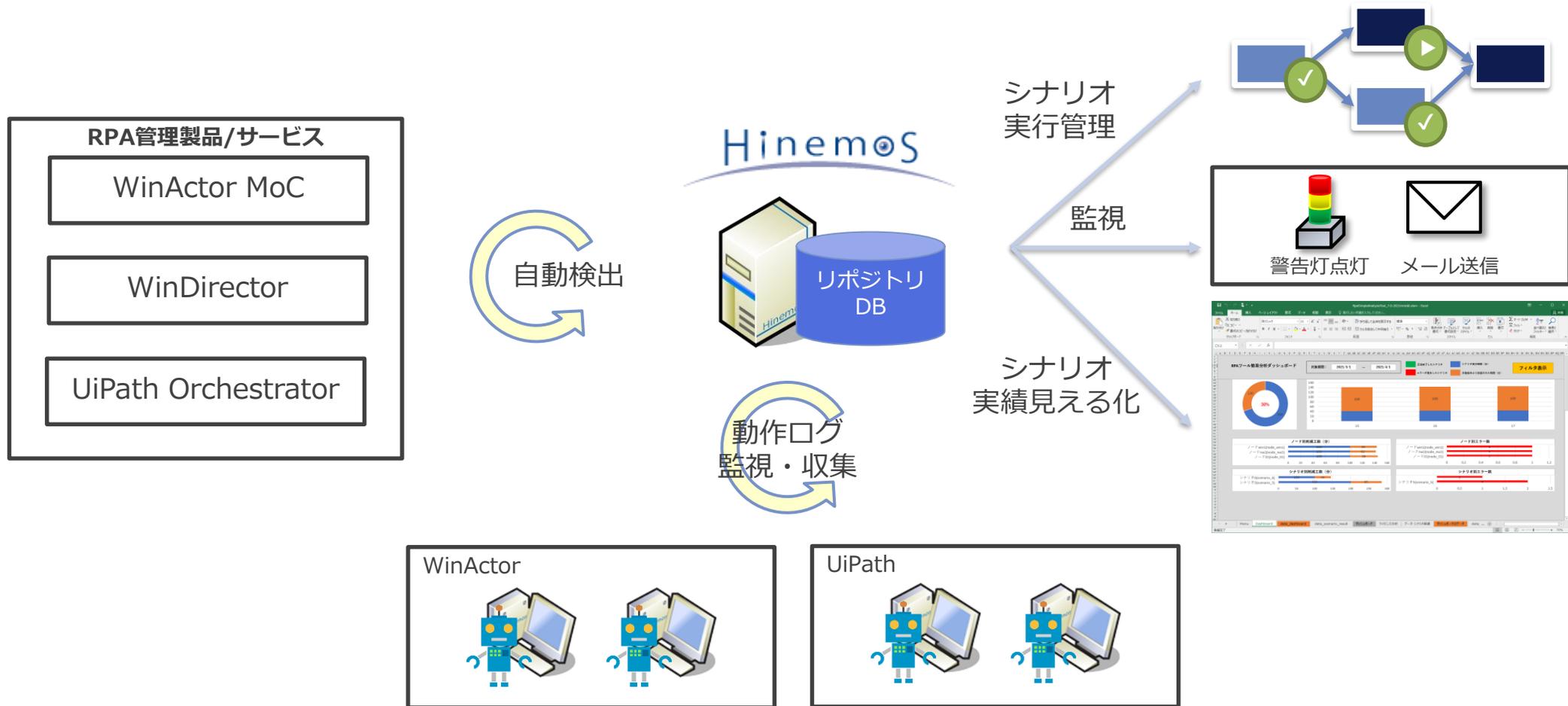


自動化機能：ジョブ管理(実行契機の管理)

多彩なジョブ実行契機を完備、必要なジョブを作りこみなしで実行

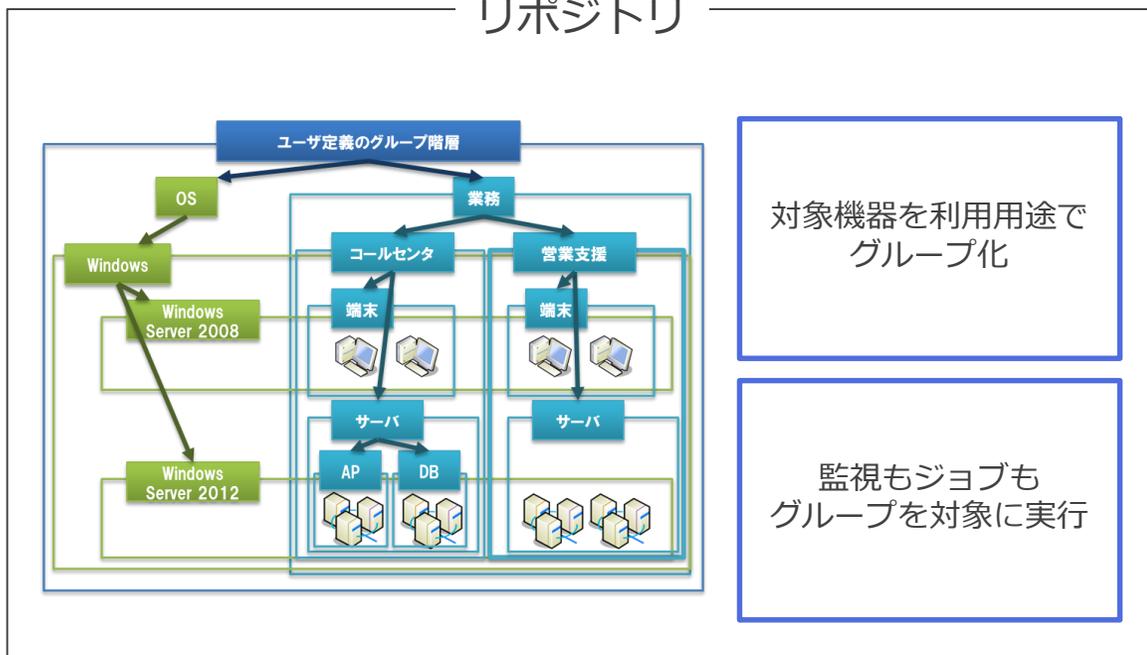


WinActorの導入端末数の増大と適用範囲の拡大、他のRPAツール並行導入により肥大化した運用管理コストをHinemosが大きく削減



機能間で共通利用する設定の集約と、シームレスな機能間連携を実現

リポジトリ



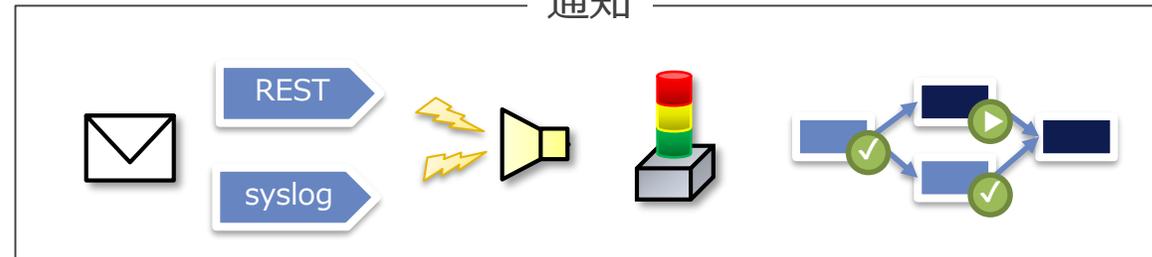
カレンダー



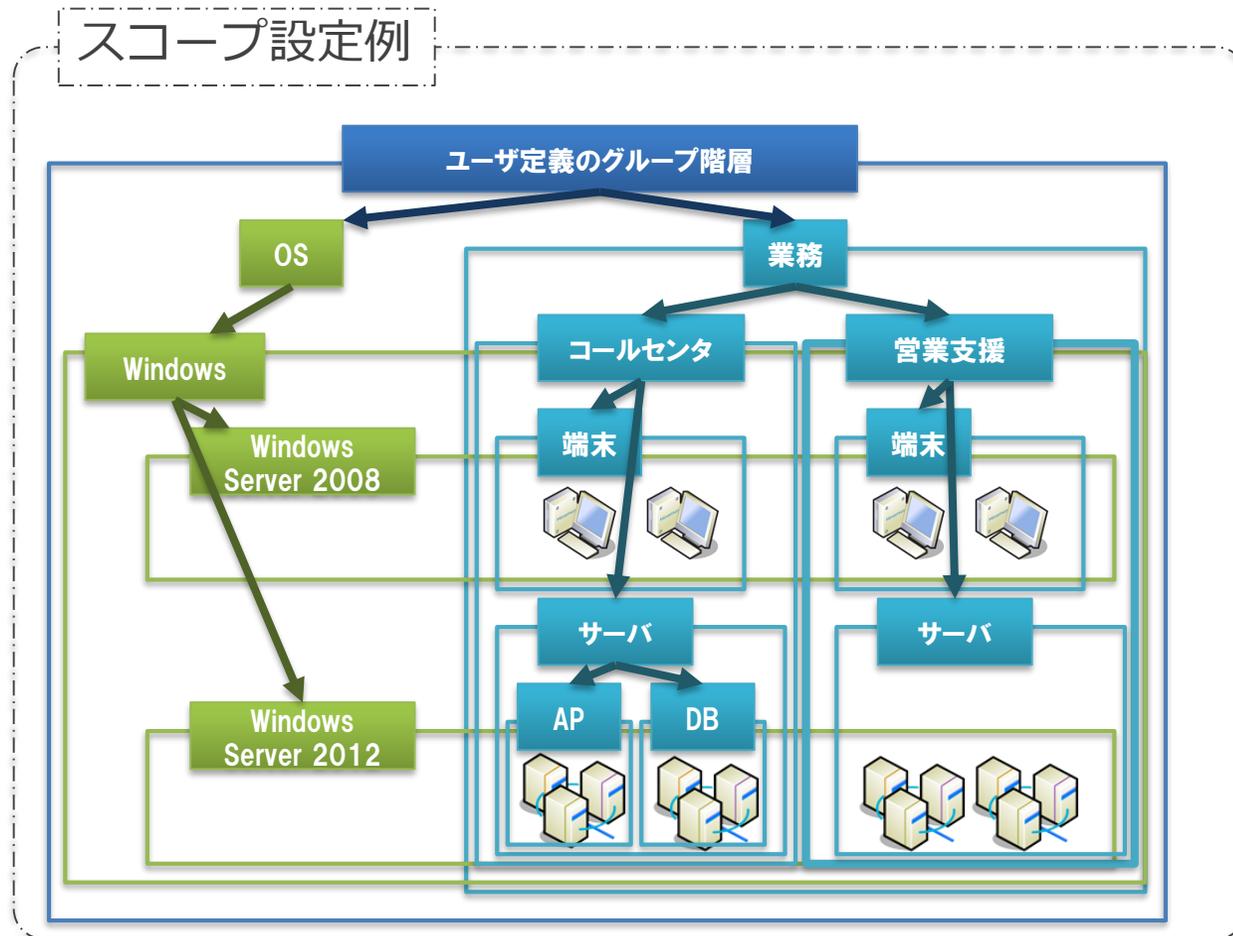
アカウント



通知



管理対象機器(ノード)を利用用途でグルーピング(スコープ) 可能



スコープの多段定義が可能

ノードの複数所属が可能

監視・ジョブ実行対象に
スコープ指定が可能

論理的なグループ単位で
監視・ジョブの設定が可能

複数ノードに対する同一の
監視要件を、1設定に集約可能

共通基本機能：リポジトリ機能(構成情報の管理)

管理対象ノードのデバイス情報のみならず、
パッケージ情報・プロセス情報の取得・履歴管理が可能

情報取得

デバイス情報

監視に必要な
デバイス情報の取得

構成情報

パッケージ・プロセス情報
を含む各種構成情報の取得

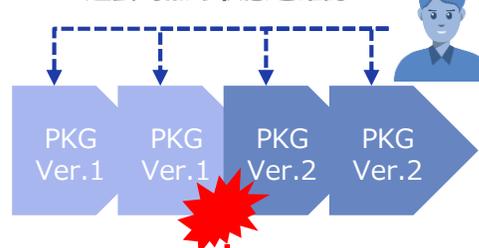
活用



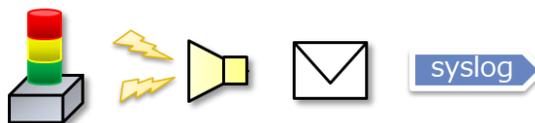
情報活用

◆変更の通知・履歴確認

過去時点の状態を確認



変更時にアラート

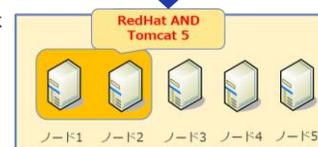


◆検索と見える化

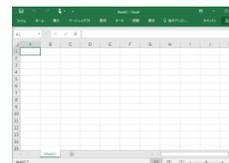
条件検索

RedHat And Tomcat 5

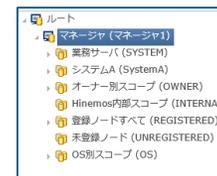
GUI表示



CSV出力



リポジトリ登録



構成情報管理の工数削減

メンテナンスが漏れがちな構成情報も
Hinemosが自動で取得

早急な脆弱性点検が可能に

定期・不定期に発生する脆弱性問題に対する
点検が検索するだけで実現

構成変更のサイクルを実現

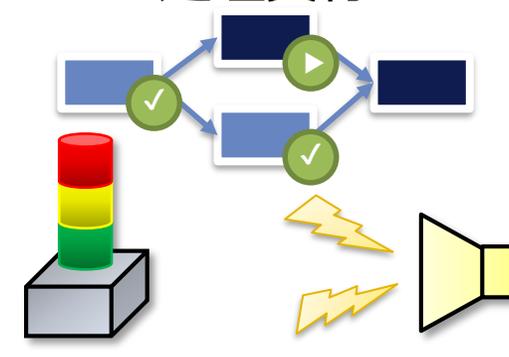
対象特定⇒構成変更⇒結果確認のサイクルを
全てHinemosで実現

Hinemosを用いた運用結果は、様々な形で通知が可能

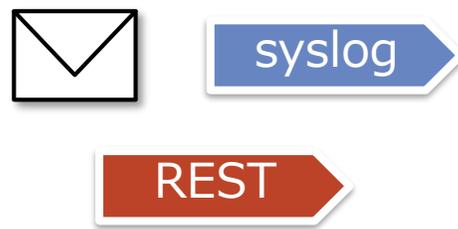
コンソールで視覚的に通知

A screenshot of the Hinemos monitoring console showing a network map and various data points.

運用結果に連動して処理実行

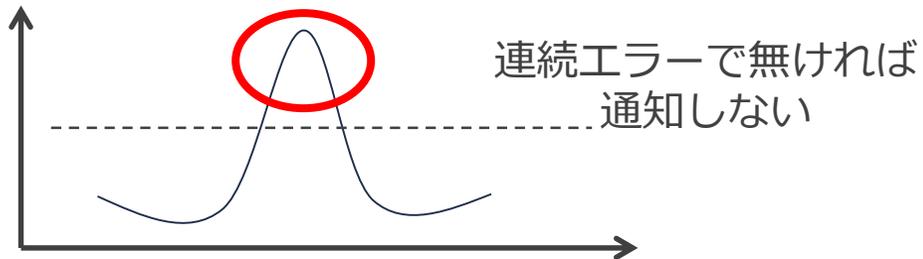
A flowchart showing a sequence of steps with checkmarks and a play button, leading to a speaker icon, indicating that actions are triggered by the monitoring results.

運用結果を外部に通知

Icons for an envelope, a 'syslog' arrow, and a 'REST' arrow, representing different external notification channels.

瞬間的な異常やメッセージラッシュにおける、**通知抑制**が可能

瞬間的な異常



メッセージラッシュ

```
INFO service start  
ERROR diskio /hoge  
ERROR diskio /hoge  
ERROR diskio /hoge  
ERROR diskio /hoge
```

初回通知以降一定時間は通知しない

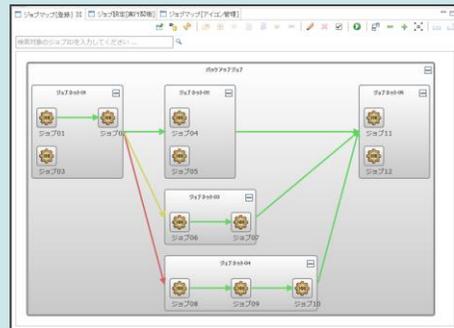
エンタープライズ機能

運用情報の可視化・運用業務の効率化を実現

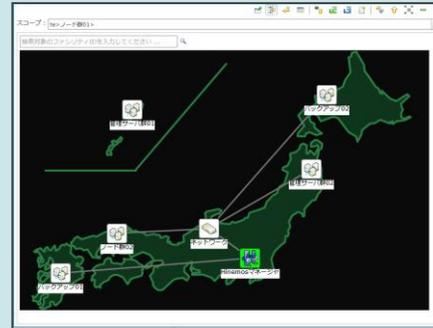
Excelインポート
エクスポート



Hinemos
ジョブマップ



Hinemos
ノードマップ



■ Hinemosジョブマップ

ジョブフローを可視化し、運用操作を容易化

■ Hinemosノードマップ

監視対象を2次元マップで可視化

■ Hinemosレポーティング

監視結果やジョブ実行状況をレポート出力

■ Excelインポート・エクスポート

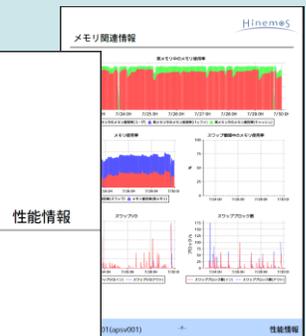
ExcelでHinemosの設定操作、一括入出力を実現

■ RPA管理

RPA導入環境の運用、シナリオ実行管理を効率化

■ ユーティリティツール

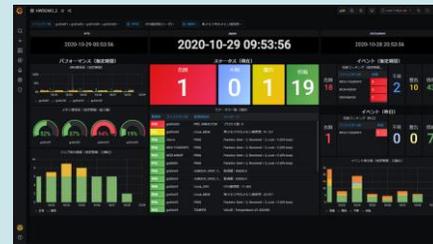
Hinemosをより活用できる便利ツール類を提供



Hinemos
レポーティング



RPA管理



ユーティリティ
ツール

Excelインポート・エクスポート

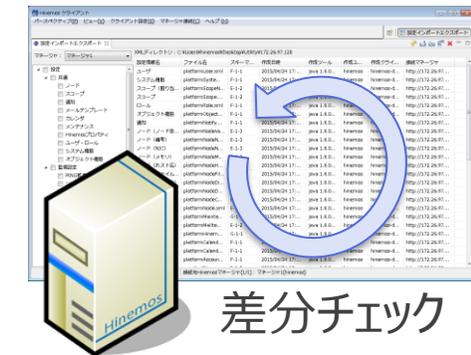
Hinemosの監視・ジョブなどの設定を、Excelで一括編集

Hinemosクライアントからインポート・エクスポート

- ・ 多数の設定を一括でインポートし、設定に要する時間を短縮
- ・ 設定内容をエクスポートし、スナップショットとして保持や設計資料へのフィードバックに利用可能

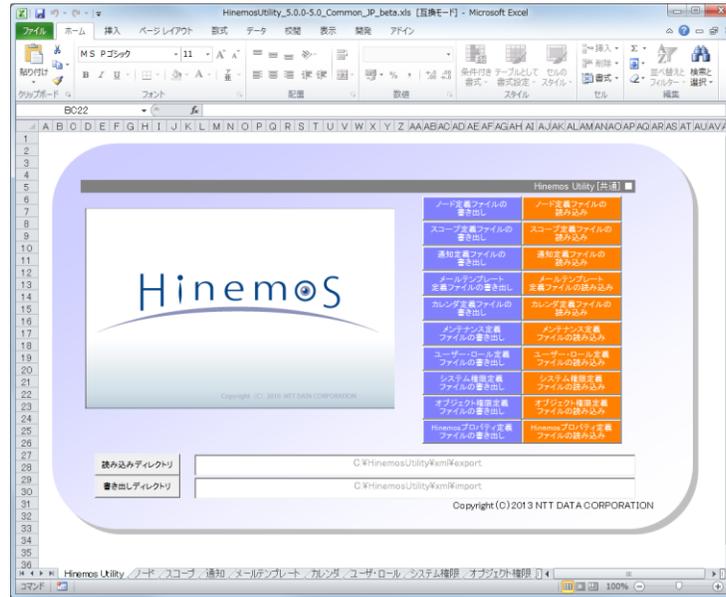
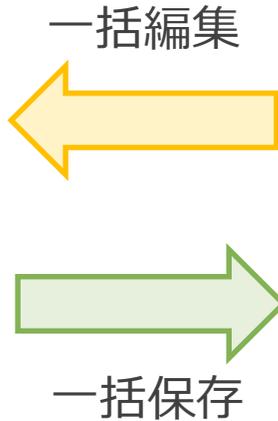
差分チェック

- ・ 設定情報の差分の有無や差分内容の検出により、安全な設定変更作業を実現



Hinemos
マネージャ

差分チェック



Microsoft Excel

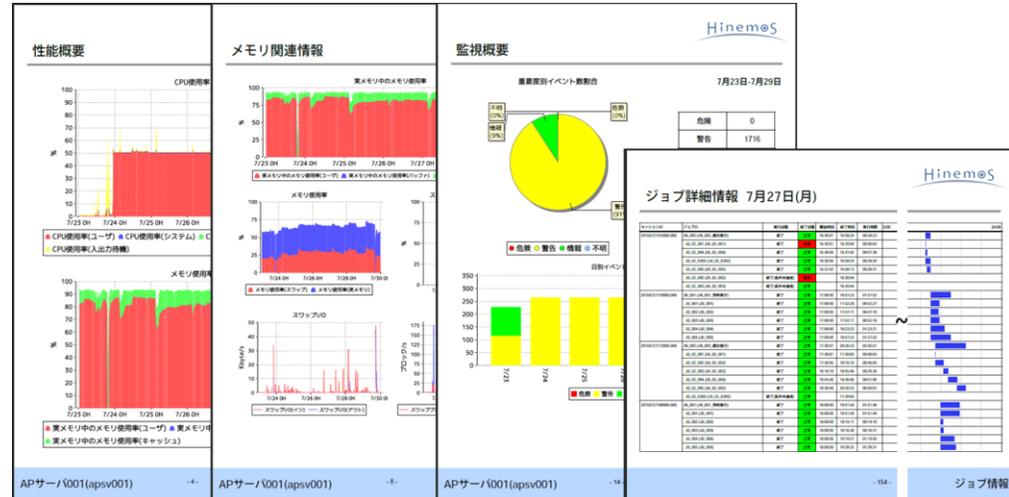
Hinemos上の運用データからレポートを作成し、配信可能

レポートの自動生成・配信

運用結果を、定義したスケジュールに基づき自動で生成・メール配信

テンプレートの活用

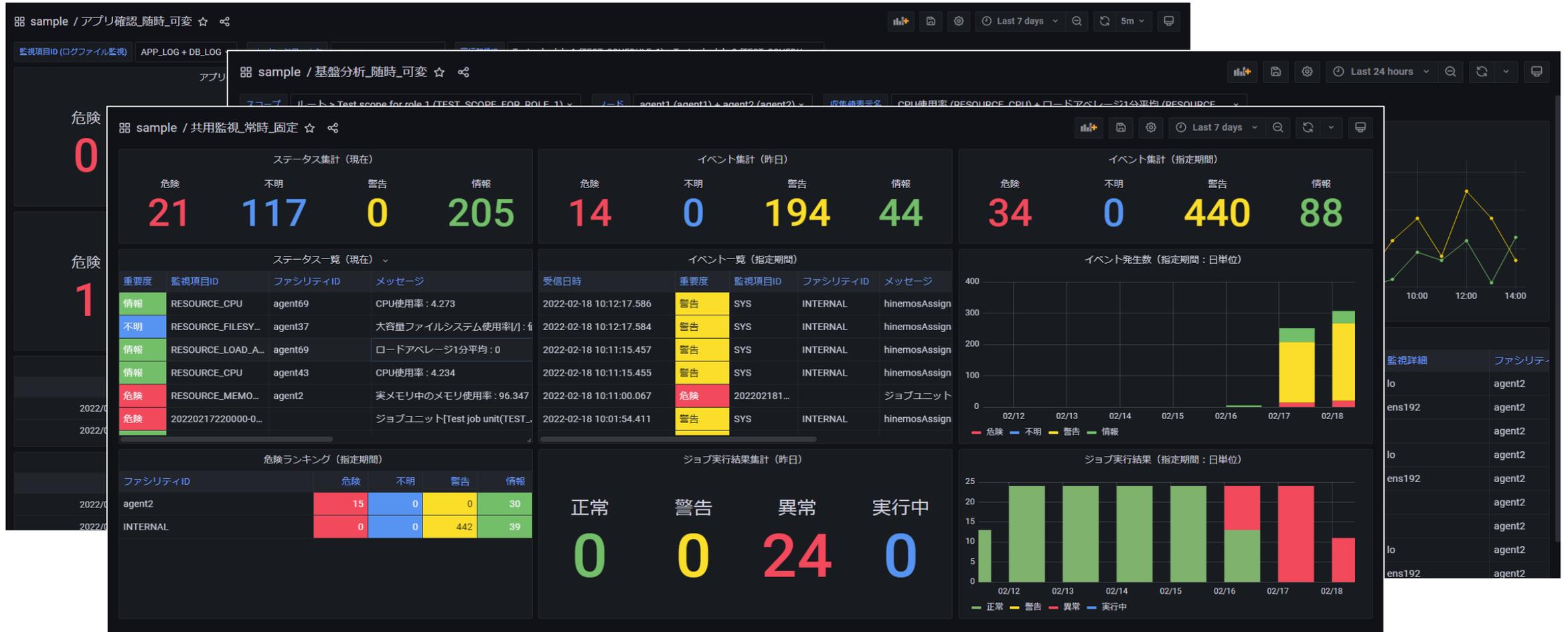
必要なレポートフォーマットを、テンプレートを用いて容易に指定可能



テンプレート		説明
性能情報	ノード概要	各性能情報のカテゴリのうち、代表的なグラフを表示
	ノード詳細	全ての性能情報のグラフを表示
監視情報	ノード概要	イベントの重要度比率や日別件数をグラフで表示
	ノード詳細 (表)	イベントの内容をリストで表示
	ノード詳細 (グラフ)	数値監視 (リソース監視を除く) の結果をグラフで表示
ジョブ情報	セッション	ジョブの起点単位の終了状態をリストで表示
	ジョブ詳細	ジョブ毎の実行状態をガントチャートで表示
	ノード詳細	ノード毎のジョブの実行状態をガントチャートで表示

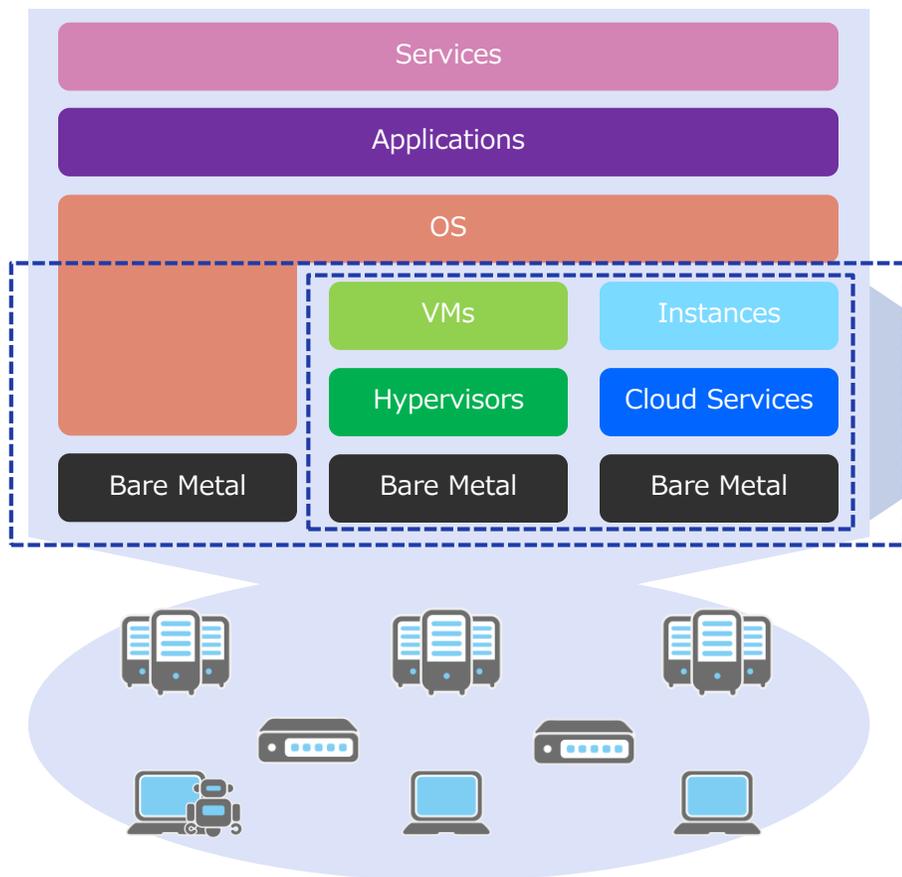
AWSクラウド性能情報・VMware vSphere仮想化性能情報のレポートテンプレートも提供

Hinemosが収集・蓄積したデータや設定を、Grafanaのダッシュボードに表示するためのデータソースを提供



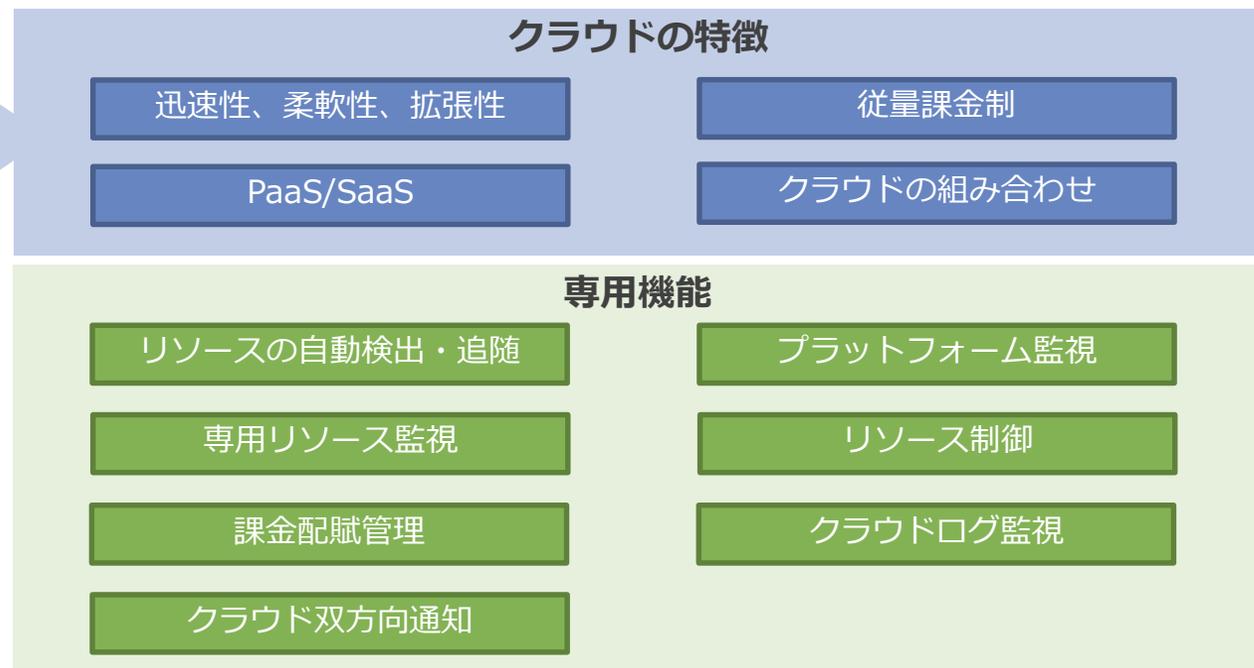
VM・クラウド管理機能

クラウドの特徴をカバーする専用機能により、
オンプレミス同様の運用を作り込み不要で実現



クラウド管理機能

クラウドの特徴を活かしつつオンプレミス同様の運用を可能に

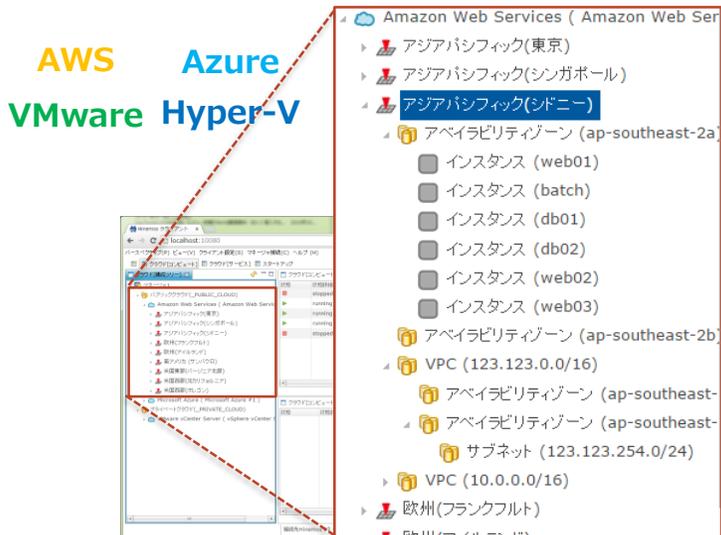


VM・クラウド管理機能：リソース変更の自動検出・追隨

VM・クラウドのリソースを検出・識別してリポジトリに自動反映 監視・ジョブを自動で開始・継続

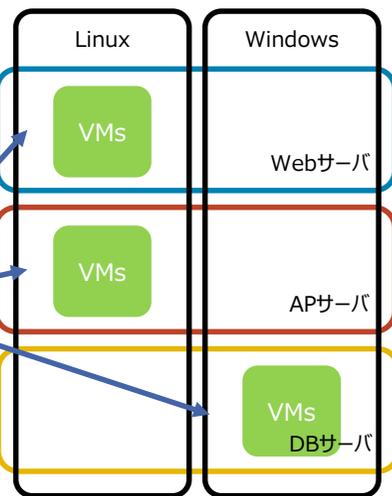
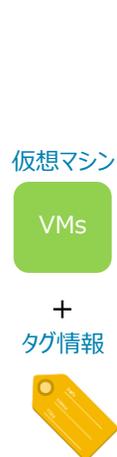
①自動検出

クラウド上の仮想マシン、リージョン、アベイラビリティゾーン、VPC、サブネット等の情報を自動取得



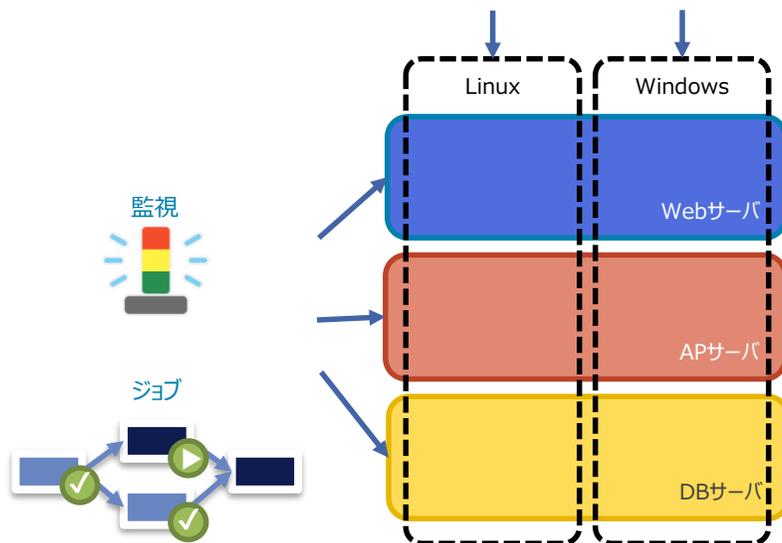
②識別

タグを使ってWebサーバやDBサーバといった、ユーザが管理したい単位にグルーピング



③監視・ジョブ開始

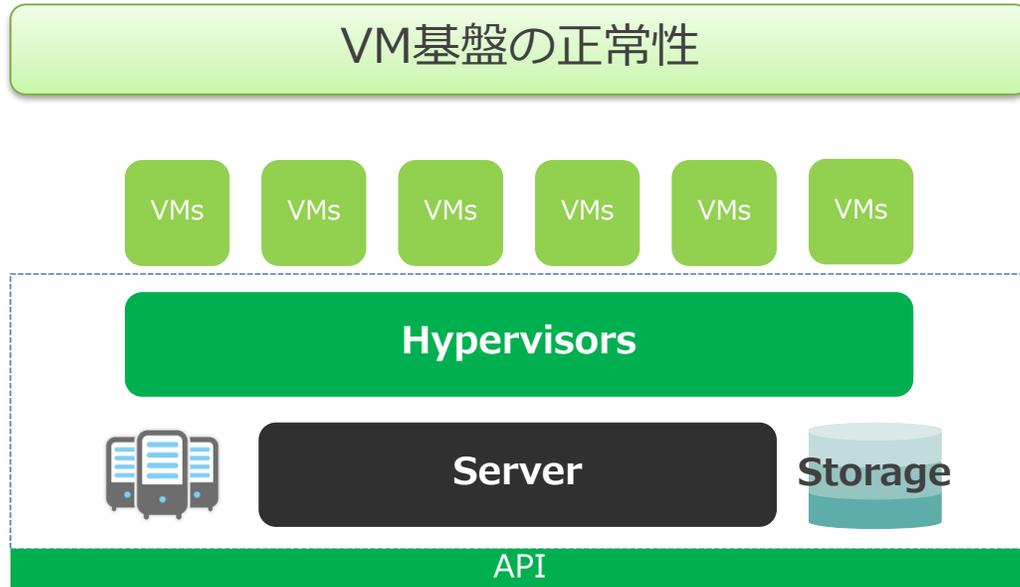
ユーザはWebサーバやDBサーバといった、ユーザが管理したい単位だけで監視やジョブを実行管理



VM・クラウドのリソース変更に柔軟に対応しオンプレ同様の管理を提供

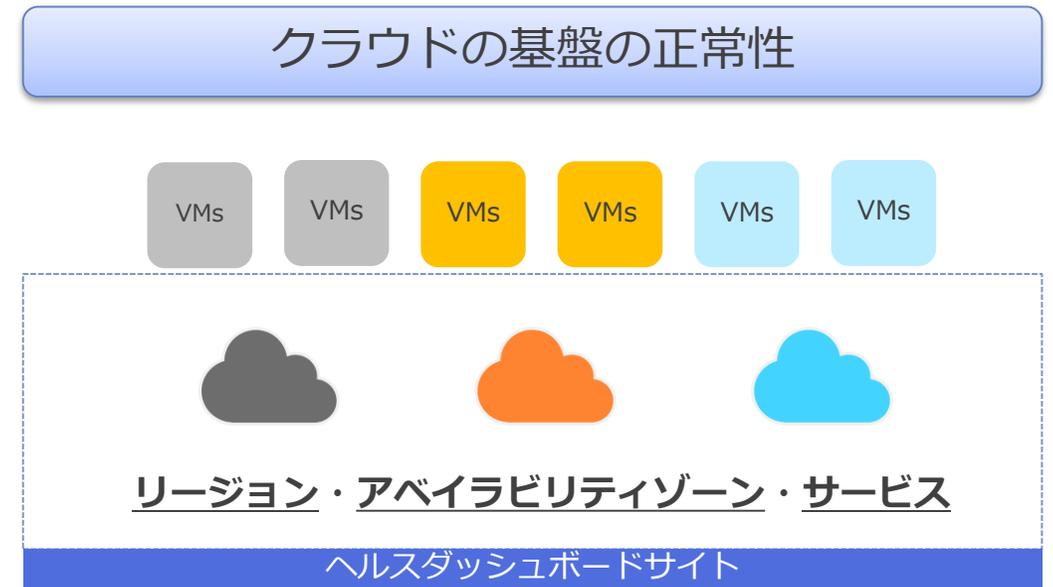
オンプレミス環境のHWに該当する、VM・クラウドの基盤の正常性を監視

VM基盤の正常性



- **vCenter/ESXi API**
データストア、ホスト、ネットワーク
- **Hyper-V**
vmmsのWindowsサービス

クラウドの基盤の正常性



リージョン・アベイラビリティゾーン・サービス

- **AWS Service Health Dashboard**
<https://status.aws.amazon.com/>
- **Azure**
Azure Monitor

システム障害時にプラットフォームとアプリの問題切り分けが簡易に

VM・クラウド専用メトリクスの監視をリソース監視のインタフェースで提供

リソース[作成・変更]

マネージャ： マネージャ1

監視項目ID：

説明：

オーナーロールID： ALL_USERS

スコープ： 参照

条件

間隔： 5分 カレンダーID：

チェック設定

監視項目：

収集時は内訳のデータも合わせて収集する

監視

基本 将来予測 変化量

監視

判定

取得値 以上 未満

取得値 以上 未満

取得値 (情報・警告以外)

VMの代表例	クラウドの代表例
CPU使用率 CPU不足量 バルーン使用量 データストア使用率	ELBのリソース RDSのリソース EBSのリソース

OK(O) キャンセル(C)

		オンプレ	VM	クラウド
OS(SNMP等)	-	○	○	○
専用API	OS	-	○	○
	HW/Hypervisor	-	○	-
	PaaS	-	-	○

・作り込み不要のシームレスな監視

リソース監視で項目を選ぶだけで、専用メトリクスを収集・蓄積・監視が可能

・マスタ編集機能でメトリクス追加/変更が可能

新サービス、シンメトリクスが登場したタイミングで簡易に登録も可能

VM・クラウド専用メトリクスと通常のOSリソース値を意識せずに監視可能

簡易な課金アラートから、配賦管理まで統合的に管理

課金アラート



- アカウント単位
- サービス単位



クラウド課金監視を使用する事で、クラウドサービスが提供する**アカウント単位**と**サービス単位**の課金状況に対して、そのままHinemosからアラートが可能です。

課金配賦管理

Webサーバ

APサーバ

DBサーバ

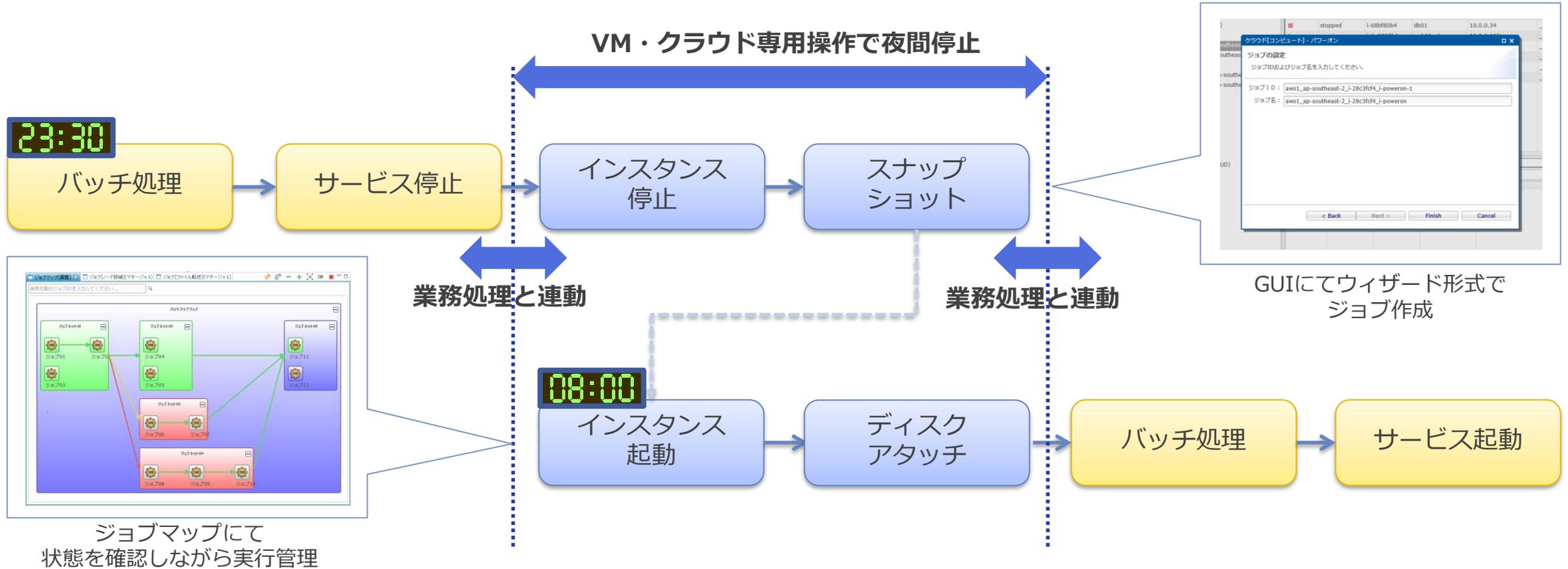
- スcope単位



クラウド課金詳細監視を使用する事で、クラウドサービス側だけではカテゴライズが難しい、用途別の課金情報（最新情報・日増分）でアラートが可能です。

プラットフォーム視点ではなく、ユーザ視点で必要な課金情報を管理可能

仮想マシン・ストレージ操作を専用ジョブにより提供



業務処理と連動したリソース制御を含めた**自動化**を簡単に実現

AWS/Azureのログサービス上に存在するログの監視・収集をシームレスに実現 シームレスな監視

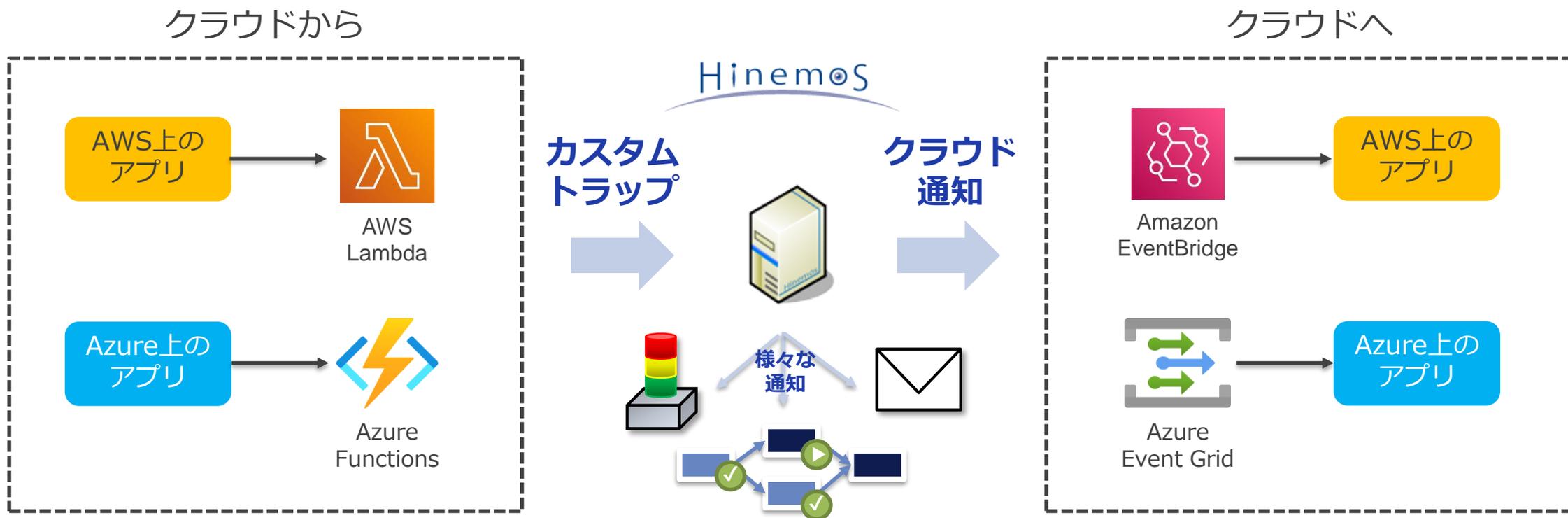


オンプレ・クラウドを跨った統合ログ管理を実現

注1) 本機能を利用するにはクラウドのログサービスのログを中継するHinemosエージェントの導入が必要です

注2) Hinemosが蓄積したイベント・性能実績などを収集蓄積機能によりfluentdを介してクラウドのログサービスに転送する事も可能です

通知のバリエーションとしてAmazon EventBridgeとAzure Event Gridに対応



通知の集約とクラウド間のブリッジによりシームレスな自動化を実現

注1) AWS Lambda、Azure Functionsからの連携は、カスタムトラップ監視設定のサンプルを提供

ミッションクリティカル機能

Hinemosマネージャの多重化をワンパッケージで提供！
収集・監視・自動化の高可用性を実現

Hinemosミッションクリティカル機能の特徴

簡易構築・低コスト

- ① クラスタリングソフト・共有ディスク不要
- ② マルチプラットフォーム対応

統合運用管理機能の可用性

- ③ 障害検知と自動系切替による運用継続
- ④ 系切替中のメッセージロスト防止機構

簡易運用・オンライン復旧

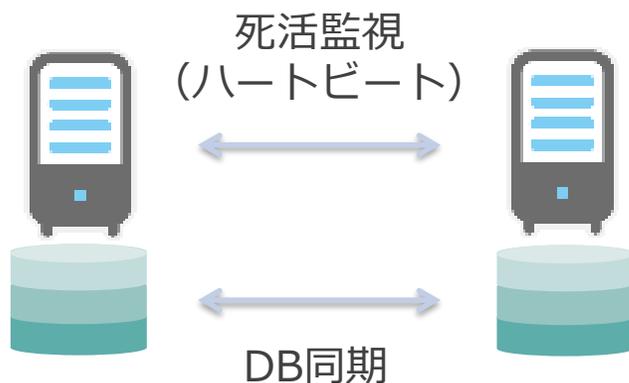
- ⑤ オンライン系切戻しによる障害復旧
- ⑥ 1コマンドによる系切戻し

通常のOS2台だけで、Hinemosマネージャを多重化！

Hinemosマネージャ

マスタサーバ

スタンバイサーバ



Hinemos自身がソフトウェアで
死活監視とDB同期を実施

クラスタリングソフトの
追加費用が不要

共有ディスクの
追加費用が不要

設計・構築時の
SE・CEコストを削減

障害発生時にも
ワンストップサポート

基盤要件がシンプル
マシンを2台用意するだけ

マルチプラットフォーム
対応

ソフト・ハードウェア費用とエンジニア工数を一気に削減

ミッションクリティカル機能：マルチプラットフォーム対応

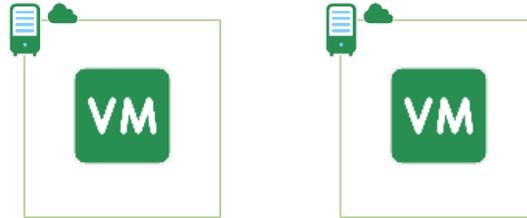
オンプレミス・仮想化・クラウド環境を全て同一アーキテクチャで対応

オンプレミス



IAサーバを2台用意するだけ

仮想化



ハイパーバイザが異なる
仮想マシンを2台用意するだけ

クラウド



インスタンスを2台用意するだけ
VPC Peer/DirectConnectにも対応

環境が変わっても、Hinemos自身が**ソフトウェア**で**死活監視**と**DB同期**を実施するだけ

プラットフォームが変わっても、**同じスキルセット**で**導入可能**

ミッションクリティカル機能：障害検知と自動系切替による運用継続

環境に合った様々な障害を検知し、自動切替を実現

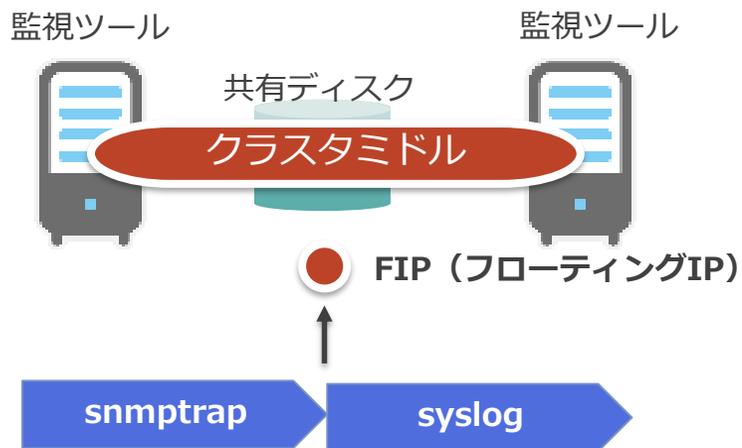


素早い自動切替により、監視やジョブ制御を止めることなく運用継続

ミッションクリティカル機能：系切替中のメッセージロスト防止

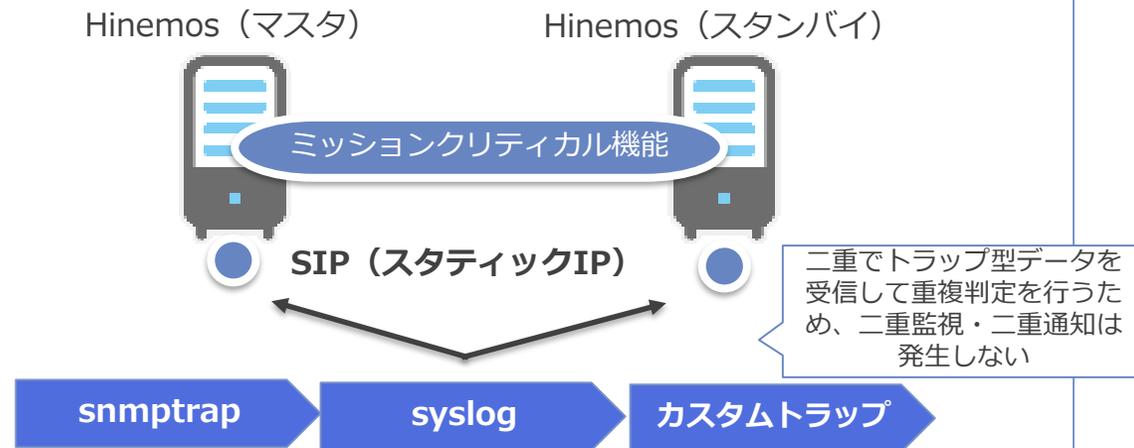
両系でトラップ型データを受信するトラップ型監視のロスト防止機構

一般的な監視ツールのクラスタ構成



FIPでトラップ型データを受信するため
系切替中のトラップ型データは受信できない

Hinemosミッションクリティカル構成



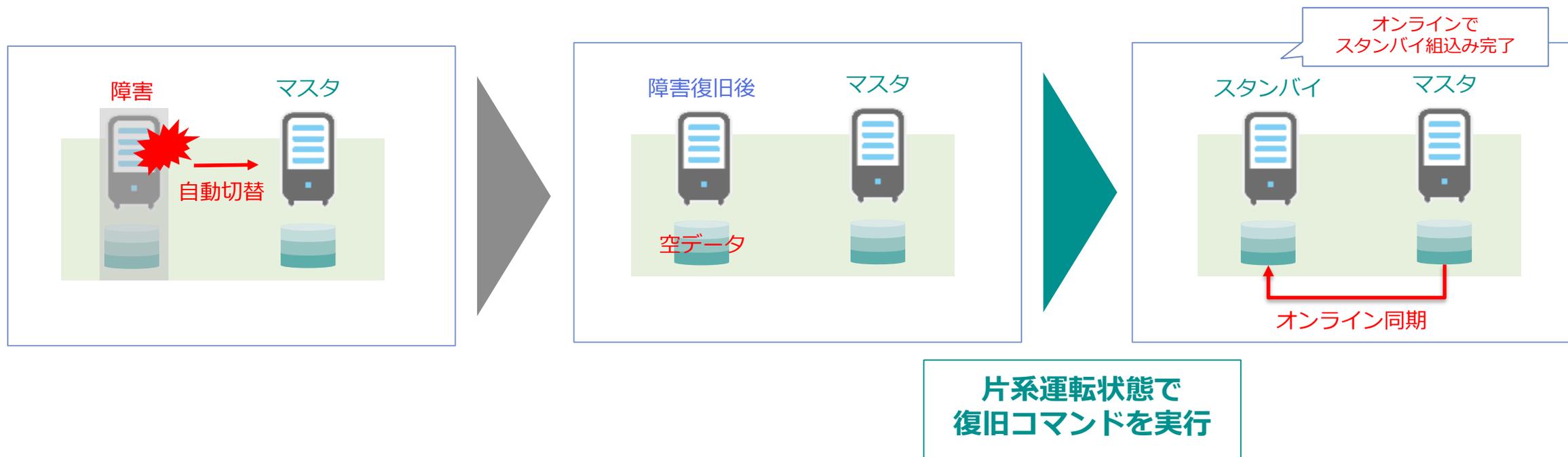
マスタ・スタンバイの両サーバの
SIPでトラップ型データを受信をして
系切替中の受信担保をする

Hinemosマネージャの系切替中でも、重要なトラップをロストせずに監視

ミッションクリティカル機能：オンライン系切戻しによる障害復旧

片系運転からの両系運転への切戻しも、オンラインで実現

障害時の自動切替が出来ても、両系運転に切戻す際に停止が発生しては意味がない



障害発生から障害復旧まで、全てをシステムに影響なく無停止で対処！

ミッションクリティカル機能：1コマンドによる系切戻し

複数の障害パターンに対して、提供する復旧コマンドは1つのみ

一般的な運用管理製品のクラスタ構成



- ・ 障害ポイントが多い
- ・ 対処する操作は障害ポイントによる
- ・ 複数のエンジニアが必要



パターンごとの復旧手順書が必要

Hinemosミッションクリティカル構成



- ・ Hinemos視点で障害切り分け可
- ・ 復旧コマンドは1つだけ
- ・ Hinemosエンジニアのみで十分

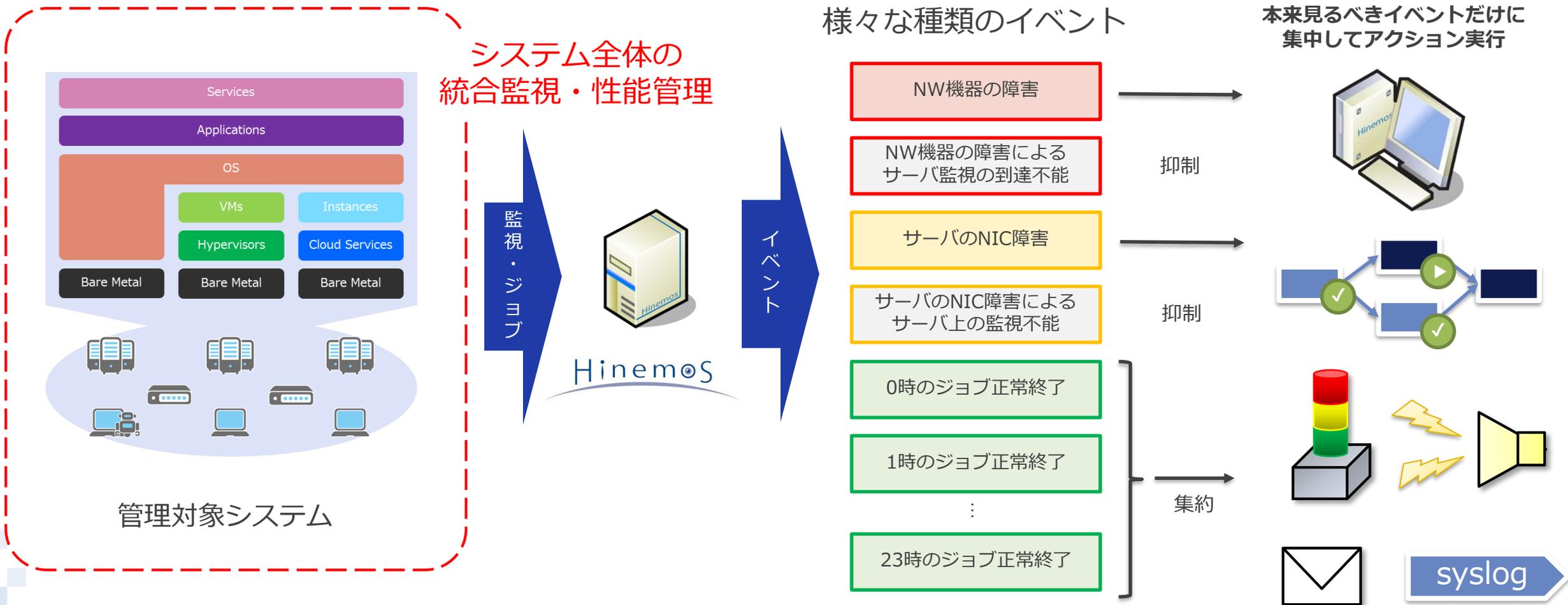


復旧手順書のパターンは不要

シンプルな手順書かつオペレータでも実施できる簡易操作で復旧が可能

Hinemosメッセージフィルタ

運用現場では様々な事象検知のために大量の「メッセージ」が発生し、「本質的なイベント」を発見する事が困難になっています



メッセージフィルタとは

ルールエンジンを活用し、
インテリジェントなアラートと自動化を実現するソリューションです



メッセージフィルタの4つの特徴

インテリジェントなアラート

インテリジェントな自動化

ルールベースの条件指定

Hinemosからのシームレスな導入

ご相談・お問い合わせ

製品・サービスに関するお問い合わせはこちら

Hinemosに関するお問合せ

お気軽にお問合せください。

Hinemosポータルサイト

URL : <https://www.hinemos.info/contact>

お待ちしているもに！





NTT DATA

Trusted Global Innovator